

地方整備局（港湾空港関係）の事業における

電子納品等運用ガイドライン

【資料編】

令和4年3月

国土交通省港湾局

目 次

1. 適用	1
2. 土木設計業務等の電子納品要領の運用	2
3. 工事完成図書の電子納品等要領の運用	9
4. CAD 製図基準の運用	15
5. デジタル写真管理情報基準の運用	21
6. 地質・土質調査成果電子納品要領の運用	24
7. 測量成果電子納品要領の運用	25
8. 土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編の運用	27
9. 工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編の運用	29
10. CAD 製図基準 電気通信設備編の運用	32
11. 土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編の運用	33
12. 工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編の運用	35
13. CAD 製図基準 機械設備工事編の運用	38
資料－1 港湾・海岸・空港コード一覧表	39
資料－2 レイヤ名一覧表	44
資料－3 港湾工事工種体系ツリー	69
資料－4 空港土木工事工種体系ツリー	70

1. 適用

地方整備局（港湾空港関係）の事業における成果品の電子納品は、国土交通省で公開している各種電子納品要領・基準（以下「要領」といいます。）に準拠した納品を基本とする。

地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品等運用ガイドライン【資料編】（以下、「港湾空港資料ガイドライン」といいます。）は、各種電子納品要領・基準で定められた電子納品を地方整備局（港湾空港関係）の事業において運用するための方法を示すものである。

【解説】

国土交通省で公開している要領を地方整備局（港湾空港関係）（以下、「港湾空港関係」といいます。）の事業における電子納品に適用するためには、規定の一部を修正解釈する必要がある。本書では、それらについてとりまとめたものである。

要領とは、以下の要領・基準を示す。

- ・ 土木設計業務等の電子納品要領^{*1}（令和2年3月）
- ・ 土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編^{*1}（平成31年3月）
- ・ 土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編^{*1}（平成31年3月）
- ・ 工事完成図書の電子納品等要領^{*1}（令和3年3月）
- ・ 工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編^{*1}（平成31年3月）
- ・ 工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編^{*1}（平成31年3月）
- ・ CAD製図基準^{*1}（平成29年3月）
- ・ CAD製図基準 電気通信設備編^{*1}（平成29年3月）
- ・ CAD製図基準 機械設備工事編^{*1}（平成29年3月）
- ・ デジタル写真管理情報基準（令和2年3月）
- ・ 地質・土質調査成果電子納品要領^{*1}（平成28年10月）
- ・ 測量成果電子納品要領（令和3年3月）

なお、CAD図面の作成方法については、CAD製図基準に準拠しつつ本書「4. CAD製図基準の運用」、「10. CAD製図基準 電気通信設備編の運用」、「13. CAD製図基準 機械設備工事編の運用」に従うものとする。

^{*1} 各要領・基準には、同解説資料を含む。

2. 土木設計業務等の電子納品要領の運用

土木設計業務等の電子納品要領（令和2年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

2.1.適用

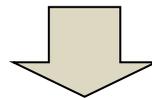
土木設計業務等の電子納品要領 同解説「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	設計業務等共通仕様書	各地方整備局
2	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局
3	測量調査業務共通仕様書	各地方整備局



(港湾空港における読み替え)

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
2	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・ 点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

2.2.成果品の管理項目

2.2.1.業務管理項目

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル（INDEX_D.XML）のうち、「設計書コード」の欄には発注者が定める**案件番号（9桁）**を必ず記入する。

- ・ 業務件名等 — 設計書コード

また、対象水系路線コード及び名称の欄については、「**港湾・海岸・空港コード**」及び「**港湾・海岸・空港名称**」を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線等コード
- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

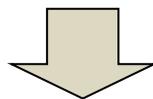
港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、業務管理ファイル（INDEX_D.XML）の作成に際して、土木設計業務等の電子納品要領では設計書コードに発注機関の指示に従い記入することとなっているため、発注者の指示する案件番号（9桁）を記入することとする。

また、対象水系路線コード及び名称については、テクリス入力システムの業務対象水系・路線等コードより選択することとなっている。しかし、このテクリスでは港湾区域を網羅していないため、資料-1 に示す港湾・海岸・空港コード一覧表の港湾・海岸・空港コード及び港湾・海岸・空港名称を利用するものとする。

なお、港湾・海岸・空港コード及び港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

表 2-1 業務管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
業務 件名 等	設計書コード	各発注者機関で業務1件につき固有の番号として付されるもので、発注機関の指示に従い記入する。	半角英数字	30	■	◎	
	業務名称	設計図書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎	
場所 情報	測地系	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2 固定	□	◎	
	水系 路線 情報	対象水系 路線 コード	テクリス入力システムの業務対象水系・路線等コードを記入する。	半角数字	5 固定	□	△
		対象水系 路線名	対象水系路線名の情報がある場合に記入する。複数の水系・路線にまたがる業務の場合、関連する水系・路線名を記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。	全角文字 半角英数字	127	□	○
施設 情報	施設コード	施設コードを記入する。 (0101)橋梁、(0102)横断歩道橋、(0103)トンネル、(0104)シェッド、(0105)大型カルバート、(0106)門型標識等、(0199)その他(道路分野)、(0201)ダム、(0202)砂防、(0203)災害復旧、(0204)堤防、(0205)水門、(0206)河川、(0207)樋門・樋管、(0208)河川構造物、(0299)その他(河川分野)、(0501)直轄砂防施設、(0599)その他(砂防)、(0601)都市公園、(0699)その他(公園)、(9999)その他(上記4分野以外の施設)	半角数字	4	□	○	



(港湾空港における読み替え)

表 2-1 業務管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
業務 件名 等	設計書コード	発注者が定める案件番号(9桁)を記入する。	半角英数字	30	■	◎	
	業務名称	契約書に記載されている契約上の正式な業務名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎	
場所 情報	測地系	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2 固定	□	◎	
	水系 路線 情報	対象水系 路線 コード	港湾・海岸・空港コード一覧表の港湾・海岸・ 空港コードを記入する。(資料-1 参照)	半角数字	5 固定	□	◎
		対象水系 路線名	港湾・海岸・空港コード一覧表の港湾・海岸・ 空港名称を記入する。(資料-1 参照)	全角文字 半角英数字	127	□	◎
施設 情報	施設コード	対象とする施設コードを表 2-2 から選択し、 記入する。	半角数字	4	□	○	

施設コードに入力する港湾施設関連の施設情報コード一覧表を下表に示す。

表 2-2 施設情報コード一覧

コード	施設分野	コード	施設分類
51	港湾施設	01	水域施設
		02	外郭施設
		03	係留施設
		04	臨港交通施設
		05	航行補助施設
		06	荷さばき施設及び移動式荷役機械
		07	旅客施設及び移動式旅客乗降用施設
		08	保管施設
		09	船舶役務用施設並びに船舶の離着岸を補助するための船舶並びに船舶のための給水、給油及び給炭の用に供する船舶及び車両
		10	港湾公害防止施設
		11	廃棄物処理施設並びに廃棄物の処理の用に供する船舶及び車両
		12	港湾環境整備施設
		13	港湾厚生施設
		14	港湾管理施設及び港湾管理用移動施設
52	港湾海岸施設	01	海岸施設
		99	その他施設
53	空港施設	01	空港用地
		02	基本施設
		03	付帯施設
		04	構内道路
		05	地下構造物
		06	ライフライン
		07	進入灯橋梁
		08	駐車場
		09	気象施設
		10	その他

2.2.2.報告書管理項目

成果品の電子媒体に格納する報告書管理ファイル（REPORT.XML）のうち、以下の項目については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」の「成果物」または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」の「成果品」に規定する項目を記入する。

- ・ 報告書ファイル情報 — 設計項目
- ・ 報告書ファイル情報 — 成果品項目

【解説】

報告書管理ファイル（REPORT.XML）の作成に際し、報告書ファイルの情報を明確にするために、港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書により成果物の分類及び種類を入力するものとする。

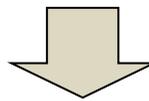
具体的には、以下の通りである。

- ・ 「設計項目」 の内容：報告書、設計図面（または図面）、資料、等
- ・ 「成果品項目」 の内容：設計説明書、基本設計計算書、数量計算書、位置図、標準断面図、等

なお、空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書の成果品の規定には、上記の「成果品項目」に相当する項目が記載されているが、「設計項目」に相当する分類がない。このため、「設計項目」には上記の内容を記載するものとする。

表 2-3 報告書管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
報告書ファイル情報	報告書ファイル作成ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	◎
	設計項目	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「設計項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の設計項目ごとに分けた場合は記入する)	全角文字 半角英数字	16	<input type="checkbox"/>	○
	成果品項目	設計業務共通仕様書の「成果品」に規定する「成果品項目」を記入する。(報告書オリジナルファイルを設計業務共通仕様書の成果品項目ごとに分けた場合は記入する)	全角文字 半角英数字	16	<input type="checkbox"/>	○



(港湾空港における読み替え)

表 2-3 報告書管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
報告書ファイル情報	報告書ファイル作成ソフトウェア名	報告書ファイルを作成したソフトウェア名を、バージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	◎
	設計項目	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書の各業務の「成果物」に規定する項目を記入する。</u>	全角文字 半角英数字	16	<input type="checkbox"/>	○
	成果品項目	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書の各業務の「成果物」に規定する詳細項目または、空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書の「成果品」に規定する項目を記入する。</u>	全角文字 半角英数字	16	<input type="checkbox"/>	○

3. 工事完成図書の電子納品等要領の運用

工事完成図書の電子納品等要領（令和3年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

3.1.適用

工事完成図書の電子納品等要領 同解説「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾工事共通仕様書」、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」または「空港土木工事共通仕様書」、「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾工事共通仕様書」、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木工事共通仕様書」、「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により工事が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各工事の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	土木工事共通仕様書	各地方整備局等
2	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局等



(港湾空港における読み替え)

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	<u>港湾工事共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
2	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
3	<u>空港土木工事共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>
4	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

3.2.フォルダ構成

3.2.1.「REGISTER」フォルダ

「REGISTER」フォルダに格納すべき台帳ファイルが港湾空港関係の事業では、電子成果物に該当しないため、「ORGnnn」サブフォルダは作成しない。

【解説】

工事完成図書の電子納品等要領では、「REGISTER」フォルダには、台帳管理ファイルと設計図書に従って工事目的物の完成状態を台帳として記録した工事管理台帳、工事目的物の諸元をとりまとめた施設管理台帳、工事目的物の品質記録をとりまとめた品質記録台帳の各種台帳類、着手前写真ファイル、完成写真ファイルを格納するように規定されているが、港湾空港関係の事業では該当する台帳類が規定されていないため、これらの電子データを管理する「ORGnnn」フォルダを作成しない。

3.2.2.「OTHRs」フォルダ

工事帳票管理システムから工事帳票を出力する場合は、「OTHRs」フォルダ（その他フォルダ）には、「業務確認書」、「検査書」、「工事履行報告書(工事旬報)」及び、**監督職員の承諾を得たデータ**を格納する。

また、業務確認書、検査書、履行報告書(工事旬報)を格納するサブフォルダ名、サブフォルダ日本語名、及びオリジナルファイル名は以下のとおりとする。

サブフォルダ名	サブフォルダ日本語名	オリジナルファイル名
ORG001	業務確認書	CHKnn_mm.XXX
ORG002	検査書	CHKnn_mm.XXX
ORG003	履行報告書	PRGnn_mm.XXX

その他に監督職員の承諾を得て格納するデータがある場合については、サブフォルダ名をORG004～ORGnnnとし、格納している資料の内容がわかるようなサブフォルダ日本語名、ファイルの命名規則に則ったオリジナルファイル名をつける。

【解説】

工事完成図書の電子納品等要領では「OTHRs」フォルダは監督職員の承諾を得て作成することができ、「ORGnnn」サブフォルダを複数作成できていることになっている。

これまで「OTHERS」フォルダに「工事履行報告書」と「段階確認書」のみを格納すると規定していたものを、平成16年6月の改訂において、将来的に維持管理分野で利用できるデータ等工事の特性に応じたデータを格納できるようにしたものである。

港湾空港関係の事業においては「段階確認書」の代わりに業務確認書や各種検査書が利用されている。

したがって、「OTHERS」フォルダに格納する電子納品対象物としては「業務確認書」、「検査書（工事材料検査書、施工状況検査書、立会検査書）」、「履行報告書（工事旬報）」及び、工事の特性に応じて必要となるデータを監督職員の承諾を得て格納することとする。業務確認書、検査書、履行報告書（工事旬報）のオリジナルファイル名については、従来通り業務確認書（CHKnn_mm.XXX）、検査書（CHKnn_mm.XXX）、履行報告書（PRGnn_mm.XXX）を使用するものとする。

3.3.成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_C.XML）のうち、「工事番号」の欄には発注者が定める**案件番号（9桁）**を必ず記入する。

- ・ 工事件名等 — 工事番号

また、「対象水系路線名」の欄については、**港湾・海岸・空港名称**を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

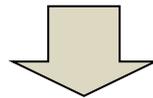
港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、工事管理ファイル（INDEX_C.XML）の作成に際して、工事完成図書（電子納品等要領）では工事番号にCCMS設計書番号（8桁～16桁）を記入することとなっているが、案件番号（9桁）を記入することとする。

また、工事の実施箇所の対象水系路線名等については、テクリスの「路線・水系名等」に従って記入することとなっているが、港湾空港工事での工事実施箇所を明確にするために、港湾・海岸・空港名称を入力することとする。（資料-1参照）

なお、港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

表 3-1 工事管理項目

分類・項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
工 事 件 名 等	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。	半角数字	4固定	<input type="checkbox"/>	◎	
	工事番号	地方整備局単位で設定しているCCMS設計書番号(数字8桁~16桁)を記入する。	半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	◎	
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎	
場 所 情 報	測地系	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2固定	<input type="checkbox"/>	◎	
	水 系 路 線 情 報	対象水系 路線名	テクリスの路線・水系名等に従って記入する。複数の水系・路線にまたがる工事の場合、関連する路線水系名を記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3を参照のこと。	全角文字 半角英数字	127	■	○
		現道-旧道 区分	「現道:1」、「旧道:2」「新道:3」「未調査:0」のいずれかを記入する。	半角数字	1固定	<input type="checkbox"/>	○
施 設 情 報	施設コード	施設コードを記入する。 (0101)橋梁、(0102)横断歩道橋、(0103)トンネル、(0104)シェッド、(0105)大型カルバート、(0106)門型標識等、(0199)その他(道路分野)、(0201)ダム、(0202)砂防、(0203)災害復旧、(0204)堤防、(0205)水門、(0206)河川、(0207)樋門・樋管、(0208)河川構造物、(0299)その他(河川分野)、(0501)直轄砂防施設、(0599)その他(砂防)、(0601)都市公園、(0699)その他(公園)、(9999)その他(上記4分野以外の施設)	半角数字	4	<input type="checkbox"/>	○	



(港湾空港における読み替え)

表 3-1 工事管理項目

分類・項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
工 事 件 名 等	発注年度	工事の発注年度を西暦4桁で記入する。	半角数字	4固定	<input type="checkbox"/>	◎	
	工事番号	発注者が定める案件番号(9桁)を記入する。	半角数字	127	<input type="checkbox"/>	◎	
	工事名称	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	■	◎	
場 所 情 報	測地系	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。	半角数字	2固定	<input type="checkbox"/>	◎	
	水 系 路 線 情 報	対象水系 路線名	<u>港湾・海岸・空港名称を記入する。(資料-1参照)。</u>	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	◎
		現道-旧道 区分	「現道:1」、「旧道:2」「新道:3」「未調査:0」のいずれかを記入する。	半角数字	1固定	<input type="checkbox"/>	○
施 設 情 報	施設コード	<u>対象とする施設コードを表3-2から選択し、記入する。</u>	半角数字	4	<input type="checkbox"/>	○	

施設コードに入力する港湾施設関連の施設情報コード一覧表を下表に示す。

表 3-2 施設情報コード一覧

コード	施設分野	コード	施設分類
51	港湾施設	01	水域施設
		02	外郭施設
		03	係留施設
		04	臨港交通施設
		05	航行補助施設
		06	荷さばき施設及び移動式荷役機械
		07	旅客施設及び移動式旅客乗降用施設
		08	保管施設
		09	船舶役務用施設並びに船舶の離着岸を補助するための船舶並びに船舶のための給水、給油及び給炭の用に供する船舶及び車両
		10	港湾公害防止施設
		11	廃棄物処理施設並びに廃棄物の処理の用に供する船舶及び車両
		12	港湾環境整備施設
		13	港湾厚生施設
		14	港湾管理施設及び港湾管理用移動施設
52	港湾海岸施設	01	海岸施設
		99	その他施設
53	空港施設	01	空港用地
		02	基本施設
		03	付帯施設
		04	構内道路
		05	地下構造物
		06	ライフライン
		07	進入灯橋梁
		08	駐車場
		09	気象施設
		10	その他

4. CAD 製図基準の運用

CAD 製図基準（平成 29 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

4.1. 表題欄

1. 表題欄の位置
表題欄は、図面の右下隅にある輪郭線に接して記載することを原則とする。

2. 記載事項
表題欄は、以下の項目について記載することを原則とする。ただし、これによりがたい場合は、別途基準等にて定めることで、その一部を変更・追加できるものとする。

- (年 度) 年度を記載する。
- (図面番号) 図面番号（全ての図面の通し番号）を記載する。
- (工 事 名) 業務名又は、工事件名を記載する。
- (図面名称) 図面名称を記載する。
- (縮 尺) 紙出力する際の縮尺を記載する。
- (単 位) 単位を記載する。
- (設計年月) 図面を設計した日付（竣工日など）を記載する。
- (組 数) 図面総数を記載する。

3. 表題欄の様式
表題欄の寸法及び様式は、下図を標準とする。

年 度	令和〇〇年度	図面番号	
工 事 名			
図面名称			
縮 尺		単 位	
設計年月		組 数	
国土交通省 〇〇地方整備局 〇〇港湾・空港整備事務所			

100

70

単位 (mm)

4.2. 図面管理項目

<p>電子媒体に格納する図面管理ファイル（DRAWING.XML）のうち、以下の項目については下記の規定に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通情報 — 対象工種 ・ 共通情報 — 追加工種 ・ 図面情報 — 作成者名 ・ 図面情報 — 縮尺
--

【解説】

「CAD 製図基準」1 総則 1-6 成果品 1-6-2 図面管理項目 参照。

表 4-1 図面管理項目

分類	No.	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
共通情報	1	適用要領基準*A)	図面作成時に適用した本基準を土木201703-01等の記入例に従い記入する。 (分野:土木、西暦年:2017、月:03、版:01)	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値)*B) ※	本基準で対象とする34 工種と地質を001～035 の数値で記入する。その他の追加工種がある場合は、追加工種を100～999 の数値で昇順で記入する。なお、100～999 の数値を記入した場合には、3、4の項目を必ず記入する。	半角数字	3	<input type="checkbox"/>	◎
	3	追加工種 追加対象工種(数値)	本基準で定義していない工種を追加する場合は、100～999 の数値を記入する。	半角数字	3	<input type="checkbox"/>	○
	4	追加工種 追加対象工種(概要) ※ *1)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。 (3の項目とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
	5	サブフォルダ名 追加サブフォルダ名称	サブフォルダを作成した時のサブフォルダ名称を記入する。(重複名称は不可。)	半角英数字	8	<input type="checkbox"/>	○
	6	サブフォルダ名 追加サブフォルダ名称の概要 ※	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。 (5の項目とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
図面情報 *2)	7	図面名	表題欄に記入する図面名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	◎
	8	図面ファイル名	・図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する。 ・全角文字はユーザ定義領域に限る。	全角文字 半角英数字 大文字	64		
	9	作成者名	表題欄に記述する会社名を記入する。	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	縮尺を記入する。 複数の縮尺が混在する場合は、代表縮尺を記入する。	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	半角数字	3		
	13	対象工種*B) (数値)	本基準で対象とする34 工種と地質を001～035 の数値で記入する。その他の追加工種がある場合は、追加工種を100～999 の数値で昇順で記入する。なお、100～999 の数値を記入した場合には、3、4の項目を必ず記入する。	半角数字	3		

「CAD 製図基準」抜粋

(港湾空港における読み替え)

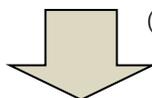


表 4-1 図面管理項目

分類	No.	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
共通情報	1	適用要領基準*A)	図面作成時に適用した本基準を土木201703-01等の記入例に従い記入する。(分野：土木、西暦年：2017、月：03、版：01)	全角文字 半角英数字	30		
	2	対象工種(数値)*B) ※	「本要領」で対象とする工種を表4-2～表4-4から選択し、数値(501～520又は001～035)で記入する。対象工種を選択に際しては、表4-2を優先する。その他の追加工種がある時は、追加工種を601～999の数値で記入する。なお、追加工種を記入した場合には、3、4の項目を必ず記入する。	半角数字	3	<input type="checkbox"/>	◎
	3	追加対象工種(数値)	「本要領」で定義していない工種を追加する場合は、601～999の数値を記入する。	半角数字	3	<input type="checkbox"/>	○
	4	追加対象工種(概要) *1)	上記の追加工種の概要を具体的に記入する。(3の項目とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
	5	追加サブフォルダ名称	サブフォルダを作成した時のサブフォルダ名称を記入する。(重複名称は不可。)	半角英数字	8	<input type="checkbox"/>	○
	6	追加サブフォルダ名称の概要	上記のサブフォルダの概要を具体的に記入する。(5の項目とセットで複数入力可)	全角文字 半角英数字	127		
図面情報 *2)	7	図面名	表題欄に記入する図面名を記入する。	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	◎
	8	図面ファイル名	・図面ファイルのファイル名の拡張子を含めて記入する ・全角文字はユーザ定義領域に限る。	全角文字 半角英数大文字	64		
	9	作成者名	図面を作成した会社名を記入する。	全角文字 半角英数字	32		
	10	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64		
	11	縮尺	図面尺度を記入する。複数の尺度が混在する場合は、代表尺度もしくは図示(zushi)を記入する。	半角英数字	16		
	12	図面番号	表題欄に記述する図面番号を記入する。	半角数字	3		
	13	対象工種*B) (数値)	「本要領」で対象とする工種を表4-2～表4-4から選択し、数値(501～520又は001～035)で記入する。対象工種を選択に際しては、表4-2を優先する。その他の追加工種がある時は、追加工種を601～999の数値で記入する。	半角数字	3		

*A) 本基準の分類は、以下のとおり。
 平成14年3月版 港湾 200203
 平成15年3月版 港湾 200303
 平成16年3月版 港湾 200403
 平成17年3月版 港湾 200503-01
 平成20年5月版 土木 200805-01
 平成28年3月版 土木 201603-01
 平成29年3月版 土木 201703-01

*B) 対象工種に記入する数値は、表 4-2～表 4-4 から選択する。

対象工種に入力する港湾施設関連の工種一覧表を下表に示す。

表 4-2 対象工種一覧 (その1)

大分類	中分類	小分類	入力数値	備考	
港湾編	水域施設	航路	501		
		泊地及び船だまり 他			
	外郭施設	防波堤	502		
		防砂堤			
		防潮堤			
		導流堤			
		護岸			
		堤防			
		突堤			
		胸壁			
		水門			
		こう門 他			
	係留施設	岸壁	503		
		係船浮標			
		係船くい			
		さん橋			
		浮さん橋			
		物揚場			
		船揚場 他			
	臨港交通施設	道路(車道)	504		
道路(歩行者専用道)					
道路(トンネル)					
駐車場					
橋りょう					
鉄道又は軌道					
運河					
ヘリポート					
荷さばき施設及び移動式荷役機械	上屋 他	505			
廃棄物処理施設並びに廃棄物の処理の用に供する船舶及び車両	廃棄物護岸 他	506			
	廃棄物受入れ施設				
港湾環境整備施設	海浜	507			
	緑地 他				
その他港湾施設	その他施設	508			
港湾海岸編	海岸施設	堤防、護岸、緩傾斜堤、胸壁	509		
		突堤			
		離岸堤、人工リーフ、消波堤			
		高潮・津波防波堤			
		人工岬			
		人工海浜			
		付帯設備			
		その他の港湾海岸施設			その他施設
	空港編	空港用地	空港用地	511	
			護岸		
揚陸施設					
場内排水施設					
空港法面					
道路法面					
航空保安施設用地					
場外排水施設					
擁壁					
ダム・調節池					
調整池					
基本施設			滑走路		
		誘導路			
		エプロン			
		着陸帯・滑走路端安全区域			
付帯施設		誘導路帯	513		
		場周道路			
		場周柵			
	プラスチックフェンス				
	門扉				

表 4-3 対象工種一覧（その2）

大分類	中分類	小分類	入力数値	備考
空港編	構内道路	車道	514	
		歩道		
		橋梁・歩道橋		
		擁壁（構内道路）		
		案内標識板		
		緑地		
	地下構造物	鉄軌道地下隧道	515	
		トンネル		
		照明共同溝		
		公益共同溝		
		消防水利		
	ライフライン	上水道施設	516	
		下水道施設		
		事業者施設		
	進入灯橋梁	進入灯橋梁	517	
	駐車場	立体駐車場	518	
		平面駐車場		
		バスプール		
		タクシープール		
	気象施設	気象管路	519	
	その他	鉄軌道高架橋	520	
消防訓練施設				
その他施設				

表 4-4 対象工種一覧（その3）

No.	対象工種	入力数値	No.	対象工種	入力数値
1	道路	001	20	離岸堤、潜堤、人工リーフ、消波堤	020
2	歩道	002	21	高潮・津波防波堤	021
3	平面交差点	003	22	人工岬	022
4	立体交差	004	23	人工海浜、砂浜	023
5	道路休憩施設	005	24	付帯設備	024
6	一般構造物	006	25	砂防ダム及び床固工	025
7	地下横断歩道等	007	26	流路工（溪流保全工）	026
8	共同溝	008	27	土石流対策工及び流木対策工	027
9	電線共同溝	009	28	護岸工	028
10	地下駐車場	010	29	山腹工	029
11	山岳トンネル	011	30	重力式コンクリートダム	030
12	シールドトンネル（立坑）	012	31	ゾーン型フィルダム	031
13	開削トンネル	013	32	宅地開発	032
14	橋梁	014	33	公園（基礎整備）	033
15	護岸	015	34	管路（下水道）	034
16	樋門・樋管、堰、水門、排水機場	016	35	地質*	035
17	床止め	017	-	空き	036~099
18	堤防、護岸、緩傾斜堤、胸壁	018			
19	突堤	019			

4.3.ファイル名

作成する CAD 図面のファイル名、並びに添付するファイル名は、「CAD 製図基準」1.総則 1-5.CAD データの作成 1-5-2.CAD データの名称、1-5-3. SAF ファイルの名称、1-5-4. ラスタファイルの名称の規定に従う。具体的な図面種類は、下表に従う。

ファイル名							図面種別名	備考
図面 番号	ライフ サイクル	整理 番号	図面 種類	改訂 履歴	ユーザ 定義領域	拡張子		
001～ 999	S D C M	0～9 A～Z	LC	0～9	全角文字 半角英数 文字	拡張子	位置図	
			PL	A～Z			平面図, 配置図	
			TS				標準断面図	
			CS				横断面	
			PF				縦断面, 正面図	
			GS				(一般)構造図	
			DT				詳細図, 製作図	
			AB				配筋図	

ファイル名の規定は、「CAD 製図基準」1.総則 1-5.CAD データの作成 1-5-2. CAD データの名称、1-5-3. SAF ファイルの名称、1-5-4. ラスタファイルの名称の規定に従う。ただし、ファイル名における港湾施設に関する具体的な図面種類は上表を参照する。

4.4.レイヤ名

レイヤ名の規定は、「CAD 製図基準」1.総則 1-5.CAD データの作成 1-5-7.レイヤの名称の規定に従う。ただし、港湾施設に関する具体的なレイヤ名については資料-2を参照する。

5. デジタル写真管理情報基準の運用

デジタル写真管理情報基準（令和2年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

5.1. 写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル（PHOTO.XML）のうち、写真一大分類が「工事」の場合、工種以下の項目について分類が明確で記入可能であれば、港湾工事では（資料-3）「港湾工事工種体系ツリー」、空港土木工事においては（資料-4）「空港土木工事工種体系ツリー」に記載されているレベル2、レベル3、及びレベル4の項目をそれぞれ**工種、種別、細別**として入力するものとする。

- ・ 写真情報 — 撮影工種区分 — 工種
- ・ 写真情報 — 撮影工種区分 — 種別
- ・ 写真情報 — 撮影工種区分 — 細別

なお、写真一大分類が「工事」以外の場合には、工種、種別及び細別の欄は、自由記入とする。

写真タイトルは、撮影写真の内容がわかるように、港湾工事写真管理基準、空港土木工事共通仕様書写真管理、または調査業務写真管理基準、地質・土質調査・試験業務の写真管理に示されている撮影項目、撮影箇所、撮影時期に相当する内容を記入する。

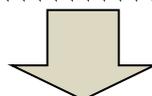
【解説】

デジタル写真管理情報基準の写真管理ファイル（PHOTO.XML）を作成するに際して、撮影工種区分—工種、種別、細別については、新土木積算大系において網羅されていない港湾空港関係工事の工種、種別、細別を明確にするために、港湾工事では資料-3「港湾工事工種体系ツリー」、空港土木工事においては資料-4「空港土木工事工種体系ツリー」に記載されているレベル2、レベル3、及びレベル4の項目をそれぞれ工種、種別、細別として入力するものとする。

また、写真タイトルについては、港湾空港関係の事業では、「港湾工事共通仕様書」、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木工事共通仕様書」、「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」に則って行われていることから、港湾工事写真管理基準、調査業務写真管理基準、または空港土木工事共通仕様書写真管理、地質・土質調査・試験業務の写真管理に示される撮影内容を記入するものとする。

表 5-1 写真管理項目(1/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
写真情報	撮影 工種 区分	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	○
		種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	○
		細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	○
		写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	◎



(港湾空港における読み替え)

表 5-1 写真管理項目(1/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
写真情報	撮影 工種 区分	工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、 <u>港湾工事工種体系、空港土木工事工種体系のレベル2「工種」(資料-3, 4参照)</u> を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	○
		種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、 <u>港湾工事工種体系、空港土木工事工種体系のレベル3「種別」(資料-3, 4参照)</u> を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	○
		細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、 <u>港湾工事工種体系、空港土木工事工種体系のレベル4「細別」(資料-3, 4参照)</u> を記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とし、大分類が「工事」で「提出頻度写真」ではない場合は、記入は不要とする。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	○
		写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、 <u>港湾工事写真管理基準、空港土木工事共通仕様書写真管理、または調査業務写真管理基準、地質・土質調査・試験業務の写真管理の撮影項目、撮影箇所、撮影時期</u> に相当する内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	◎

5.2.撮影頻度と提出頻度の取り扱い

写真の原本を電子媒体で提出する場合は、**港湾工事写真管理基準、空港土木工事共通仕様書写真管理、または調査業務写真管理基準、地質・土質調査・試験業務の写真管理**に示される撮影基準に基づくものとする。

【解説】

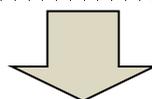
デジタル写真管理情報基準では、「8.撮影頻度と提出頻度の取り扱い」で写真管理基準に示される撮影頻度に基づくものと規定されている。

しかしながら、港湾空港関係の事業においては、「港湾工事共通仕様書」または「空港土木工事共通仕様書」の規定に基づき工事が遂行されており、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」に則って調査業務が実施されている。

したがって、撮影頻度等についてはそれぞれの共通仕様書に記載されている写真管理の規定に基づくものとする。

表 5-2 写真管理項目(2/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報	代表写真	写真管理基準(案)の撮影箇所一覧表に示される提出頻度が不要以外写真の中から工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	<input type="checkbox"/>	◎
	提出頻度写真	写真管理基準(案)の提出頻度に基づく写真である場合、「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	<input type="checkbox"/>	◎



(港湾空港における読み替え)

表 5-2 写真管理項目(2/2)

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報	代表写真	港湾工事写真管理基準に示される写真の中から工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	<input type="checkbox"/>	◎
	提出頻度写真	港湾工事写真管理基準の撮影基準に基づいて発注者と協議の結果提出頻度写真と判断された写真である場合、「1」を記入する。それ以外の場合は「0」を記入する。	半角数字	1 固定	<input type="checkbox"/>	◎

6. 地質・土質調査成果電子納品要領の運用

地質・土質調査成果電子納品要領（平成28年10月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

6.1. CAD 図面データ作成の基準

地質平面図及び地質断面図を CAD により作成する場合、「CAD 製図基準」の総則に準拠しつつ本書「4. CAD 製図基準の運用」に従って作図するものとする。

【解説】

地質・土質調査成果電子納品要領の中では、地質平面図及び地質断面図の“CAD における作図の基本については、別途定められた「CAD 製図基準」の総則に従うことを原則とする”としている。

港湾空港関係の事業では、CAD 図面の作成は CAD 製図基準に準拠しつつ本書「4. CAD 製図基準の運用」に従うものとしており、地質・土質調査成果電子納品要領の適用においても、同様に CAD 製図基準に準拠しつつ本書「4. CAD 製図基準の運用」に従うものとする。

7. 測量成果電子納品要領の運用

測量成果電子納品要領（令和3年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

7.1.適用

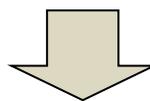
測量成果電子納品要領「1 適用」に記載された表 1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	測量業務共通仕様書(案)又は測量作業共通仕様書(案)	各地方整備局等



(港湾空港における読み替え)

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
2	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

7.2. 成果品の管理項目

成果品の管理項目のうち業務管理ファイル（INDEX_D.XML）は、「土木設計業務等の電子納品要領」を参照することになっている。

このため、業務管理ファイルの作成に際しては、「土木設計業務等の電子納品要領」とともに、本資料「2.2. 成果品の管理項目」によるものとする。

【解説】

測量成果電子納品要領（令和3年3月）では、業務管理ファイル（INDEX_D.XML）に関する規定がなく、「土木設計業務等の電子納品要領」を参照することとなっている。

このため、業務管理項目として記入する対象水系路線コード及び対象水系路線名については、本資料「2.2. 成果品の管理項目」によるものとした。

8. 土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編の運用

土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編（平成31年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

8.1.適用

土木設計業務等の電子納品要領 電気通信設備編 同解説「1 適用」に記載された表1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	電気通信施設設計業務共通仕様書	国土交通省
2	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局
3	測量作業共通仕様書	各地方整備局



(港湾空港における読み替え)

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	編集又は発行所
1	電気通信施設設計業務共通仕様書	国土交通省
2	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
3	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

8.2.成果品の管理項目

8.2.1.業務管理項目

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル（INDEX_ED.XML）のうち、「設計書コード」の欄には発注者が定める**案件番号(9桁)**を必ず記入する。

- ・ 業務件名等 — 設計書コード

また、対象路線水系コード及び名称の欄については、「**港湾・海岸・空港コード**」及び「**港湾・海岸・空港名称**」を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線コード
- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

本資料「2.2.1. 業務管理項目」参照。

8.2.2.報告書管理項目

成果品の電子媒体に格納する報告書管理ファイル（REPORT.XML）のうち、以下の項目については、「**港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書**」の「**成果物**」または「**空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書**」の「**成果品**」に規定する項目を記入する。

- ・ 報告書ファイル情報 — 設計項目
- ・ 報告書ファイル情報 — 成果品項目

【解説】

本資料「2.2.2. 報告書管理項目」参照。

9. 工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編の運用

工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編（平成31年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

9.1.適用

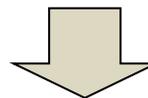
工事完成図書の電子納品等要領 電気通信設備編 同解説「1 適用」に記載された表1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	電気通信設備工事共通仕様書	国土交通省
2	地質・土質調査共通仕様書	各地方整備局



(港湾空港における読み替え)

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	監 修
1	電気通信設備工事共通仕様書	国土交通省
2	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
3	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

9.2.フォルダ構成

9.2.1.「REGISTER」フォルダ

「REGISTER」フォルダに格納すべき台帳ファイルが港湾空港関係の事業では、電子成果物に該当しないため、「ORGnnn」サブフォルダは作成しない。

【解説】

本資料「3.2.1「REGISTER」フォルダ」参照。

9.2.2.「OTHRs」フォルダ

工事帳票管理システムから工事帳票を出力する場合は、「OTHRs」フォルダ（その他フォルダ）には、「業務確認書」、「検査書」、「履行報告書(工事旬報)」及び、**監督職員の承諾を得たデータ**を格納する。

また、業務確認書、検査書、履行報告書(工事旬報)を格納するサブフォルダ名、サブフォルダ日本語名、及びオリジナルファイル名は以下のとおりとする。

サブフォルダ名	サブフォルダ日本語名	オリジナルファイル名
ORG001	業務確認書	CHKnn_mm.XXX
ORG002	検査書	CHKnn_mm.XXX
ORG003	履行報告書	PRGnn_mm.XXX

その他に監督職員の承諾を得て格納するデータがある場合については、サブフォルダ名をORG004～ORGnnnとし、格納している資料の内容がわかるようなサブフォルダ日本語名、ファイルの命名規則に則ったオリジナルファイル名をつける。

【解説】

本資料「3.2.2「OTHRs」フォルダ」参照。

9.3.成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_EC.XML）のうち、「工事番号」の欄には発注者が定める**案件番号**（9桁）を必ず記入する。

- ・ 工事件名等 — 工事番号

また、「対象水系路線名」の欄については、**港湾・海岸・空港名称**を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、工事管理ファイル（INDEX_EC.XML）の作成に際して、工事完成図書（電子納品等要領 電気通信設備編）では工事番号に CCMS 設計書番号（8桁～16桁）を記入することとなっているが、案件番号（9桁）を記入することとする。

また、工事の実施箇所の対象水系路線名については、テクリスの「路線・水系名等」に従って記入することとなっているが、港湾空港工事での工事実施箇所を明確にするために、港湾・海岸・空港名称を入力することとする。（資料-1 参照）

なお、港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

10. CAD 製図基準 電気通信設備編の運用

CAD 製図基準 電気通信設備編（平成 29 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

10.1.表題欄

表題欄の記載事項及び様式については、本書「4. CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従う。

【解説】

港湾空港関係の事業における土木施設図面と電気通信設備図面の表記を合わせるため、表題欄の記載事項と様式については本書「4. CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従うものとする。

10.2.図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル（DRAWING.XML）のうち、以下の項目については、下記の規定に従う。

- ・ 共通情報 — 対象工種
- ・ 共通情報 — 追加工種
- ・ 図面情報 — 作成者名
- ・ 図面情報 — 縮尺

【解説】

「CAD 製図基準 電気通信設備編」1 総則 1-4 成果品 1-4-2 図面管理項目 参照。

11. 土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編の運用

土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編（平成31年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

11.1. 適用

土木設計業務等の電子納品要領 機械設備工事編 同解説「1 適用」に記載された表1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

本資料「2.1. 適用」参照。

11.2. 成果品の管理項目

11.2.1. 業務管理項目

成果品の電子媒体に格納する業務管理ファイル（INDEX_MD.XML）のうち、「設計書コード」の欄には発注者が定める**案件番号(9桁)**を必ず記入する。

- ・ 業務件名等 — 設計書コード

また、対象路線水系コード及び名称の欄については、「**港湾・海岸・空港コード**」及び「**港湾・海岸・空港名称**」を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線コード
- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

本資料「2.2.1 業務管理項目」参照。

11.2.2.報告書管理項目

成果品の電子媒体に格納する報告書管理ファイル（REPORT.XML）のうち、以下の項目については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」の「成果物」または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」の「成果品」に規定する項目を記入する。

- ・ 報告書ファイル情報 — 設計項目
- ・ 報告書ファイル情報 — 成果品項目

【解説】

本資料「2.2.2 報告書管理項目」参照。

12. 工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編の運用

工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編（平成31年3月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

12.1.適用

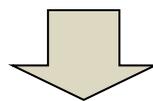
工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編 同解説「1 適用」に記載された表1-1 共通仕様書の内容については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」、または「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」として読み替える。

【解説】

港湾空港関係の事業においては、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」（監修 国土交通省港湾局）及び「空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書」（監修 国土交通省航空局）の規定により設計・測量・調査等の業務が遂行されていることから、上記の共通仕様書及び各業務の特記仕様書に規定される成果品の電子納品に適用することを基本とする。

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	発行又は監修
1	機械工事共通仕様書(案)	国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 発行
2	機械工事完成図書作成要領(案)	国土交通省総合政策局 建設施工企画課 発行



(港湾空港における読み替え)

表 1-1 共通仕様書

No.	名 称	発行又は監修
1	機械工事共通仕様書(案)	国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 発行
2	機械工事完成図書作成要領(案)	国土交通省総合政策局 建設施工企画課 発行
3	<u>港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省港湾局</u>
4	<u>空港土木設計・測量・地質土質調査・点検業務共通仕様書</u>	<u>国土交通省航空局</u>

12.2.フォルダ構成

12.2.1.「REGISTER」フォルダ

「REGISTER」フォルダに格納すべき台帳ファイルが港湾空港関係の事業では、電子成果物に該当しないため、「ORGnnn」サブフォルダは作成しない。

【解説】

本資料「3.2.1.「REGISTER」フォルダ」参照。

12.2.2.「OTHRs」フォルダ

工事帳票管理システムから工事帳票を出力する場合は、「OTHRs」フォルダ（その他フォルダ）には、「業務確認書」、「検査書」、「履行報告書(工事旬報)」及び、**監督職員の承諾を得たデータ**を格納する。

また、業務確認書、検査書、履行報告書(工事旬報)を格納するサブフォルダ名、サブフォルダ日本語名、及びオリジナルファイル名は以下のとおりとする。

サブフォルダ名	サブフォルダ日本語名	オリジナルファイル名
ORG001	業務確認書	CHKnn_mm.XXX
ORG002	検査書	CHKnn_mm.XXX
ORG003	履行報告書	PRGnn_mm.XXX

その他に監督職員の承諾を得て格納するデータがある場合については、サブフォルダ名をORG004～ORGnnnとし、格納している資料の内容がわかるようなサブフォルダ日本語名、ファイルの命名規則に則ったオリジナルファイル名をつける。

【解説】

本資料「3.2.2.「OTHRs」フォルダ」参照。

12.3.成果品の管理項目

成果品の電子媒体に添付する工事管理ファイル（INDEX_MC.XML）のうち、「工事番号」の欄には発注者が定める**案件番号（9桁）**を必ず記入する。

- ・ 工事件名等 — 工事番号

また、「対象水系路線名」の欄については、**港湾・海岸・空港名称**を必ず記入する。

- ・ 場所情報 — 水系・路線情報 — 対象水系路線名

【解説】

港湾空港関係の事業では業務や工事は案件番号で管理している。このため、工事管理ファイル（INDEX_MC.XML）の作成に際して、工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編では工事番号に CCMS 設計書番号（8桁～16桁）を記入することとなっているが、案件番号（9桁）を記入することとする。

また、工事の実施箇所の対象水系路線名については、テクリスの「路線・水系名等」に従って記入することとなっているが、港湾空港工事での工事実施箇所を明確にするために、港湾・海岸・空港名称を入力することとする。（資料-1 参照）

なお、港湾・海岸・空港名称は、電子納品物保管管理システムへのデータ登録、検索等を行うに際して重要な情報であるため、必ず記入するものとする。

13. CAD 製図基準 機械設備工事編の運用

CAD 製図基準 機械設備工事編（平成 29 年 3 月）を、港湾空港関係の事業において適用する際に、留意すべき点を以下に示す。

13.1.表題欄

表題欄の記載事項及び様式については、本書「4. CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従う。

【解説】

港湾空港関係の事業における土木施設図面と機械設備図面の表記を合わせるため、表題欄の記載事項と様式については本書「4. CAD 製図基準の運用 4.1.表題欄」の規定に従うものとする。

13.2.図面管理項目

電子媒体に格納する図面管理ファイル（DRAWING.XML）のうち、以下の項目については、下記の規定に従う。

- ・ 共通情報 — 対象工種
- ・ 共通情報 — 追加工種
- ・ 図面情報 — 作成者名
- ・ 図面情報 — 縮尺

【解説】

「CAD 製図基準 機械設備工事編」1 総則 1-5 成果品 1-5-2 図面管理項目 参照。

資料－1

港湾・海岸・空港コード一覧表

港湾・海岸・空港コード一覧表

1. 北海道

港湾コード	港湾名称
01001	室蘭
01002	稚内
01003	苫小牧
01004	函館
01005	小樽
01006	釧路
01007	留萌
01008	森
01009	江差
01010	瀬棚
01011	奥尻
01012	余市
01013	石狩
01014	岩内
01015	浦河
01016	えりも
01017	根室
01019	羽幌
01020	焼尻
01021	天売
01022	増毛
01023	土塩
01024	鷺泊
01026	枝幸
01028	香深
01029	沓形
01030	網走
01032	松前
01033	霧多布
01034	宗谷
01035	十勝
01036	檜法華
01037	昆布刈石
01039	堀株
01040	西恵山
01043	浜猿払
01044	忠類
01045	崎無異
01046	石狩湾新
01048	紋別
01049	白老

2. 青森県

港湾コード	港湾名称
02001	青森
02002	八戸
02003	大間
02004	川内
02005	大湊
02006	野辺地
02007	小湊
02008	深浦
02009	尻屋岬
02010	子ノ口
02011	休屋
02012	むつ小川原

3. 岩手県

港湾コード	港湾名称
03001	宮古
03002	大船渡
03003	釜石
03005	八木
03006	久慈
03007	小本

4. 宮城県

港湾コード	港湾名称
04001	仙台塩釜
04003	雄勝
04004	荻浜
04006	女川
04007	金華山
04008	気仙沼
04009	御崎
04010	表浜

5. 秋田県

港湾コード	港湾名称
05001	秋田
05002	船川
05003	能代
05004	本荘
05005	戸賀

6. 山形県

港湾コード	港湾名称
06001	酒田
06002	鼠ヶ関
06003	加茂

7. 福島県

港湾コード	港湾名称
07001	小名浜
07002	江名
07003	久之浜
07005	中之作
07006	翁島
07007	湖南
07008	相馬

8. 茨城県

港湾コード	港湾名称
08001	鹿島
08003	潮来
08004	土浦
08005	川尻
08006	河原子
08007	軽野
08009	茨城

12. 千葉県

港湾コード	港湾名称
12001	千葉
12002	木更津
12003	館山
12004	興津
12005	名洗
12007	上総湊
12008	浜金谷

13. 東京都

港湾コード	港湾名称
13001	東京
13002	元町
13003	岡田
13004	波浮
13005	新島
13006	神津島
13007	大久保
13008	八重根
13009	神湊
13010	利島
13011	御蔵島
13012	三池
13013	青ヶ島
13014	式根島
13015	二見
13017	沖
13018	大千代
13019	南島島
13020	沖ノ島島
13201	洞輪沢

14. 神奈川県

港湾コード	港湾名称
14001	横浜
14002	川崎
14003	横須賀
14004	大磯
14005	真鶴
14006	湘南
14007	葉山

15. 新潟県

港湾コード	港湾名称
15001	新潟
15002	両津
15003	直江津
15004	柏崎
15005	寺泊
15007	岩船
15008	二見
15009	赤泊
15010	姫川
15012	小木

16. 富山県

港湾コード	港湾名称
16001	伏木富山
16002	魚津

17. 石川県

港湾コード	港湾名称
17001	七尾
17002	金沢
17003	穴水
17004	宇出津
17005	小木
17006	飯田
17007	輪島
17008	福浦
17009	滝
17010	塩屋
17011	和倉
17014	半ノ浦

18. 福井県

港湾コード	港湾名称
18001	敦賀
18003	和田
18004	鷹巣
18005	福井
18006	内浦

22. 静岡県

港湾コード	港湾名称
22001	清水
22002	田子の浦
22003	沼津
22004	相良
22005	土肥
22006	松崎
22007	伊東
22008	熱海
22009	下田
22010	浜名
22012	宇久須
22013	手石
22014	榛原
22015	大井川
22016	御前崎

23. 愛知県

港湾コード	港湾名称
23001	名古屋
23002	衣浦
23003	三河
23004	師崎
23005	常滑
23006	吉田
23007	伊良湖
23008	福江
23009	倉舞
23010	内海
23011	泉
23012	富良崎
23013	馬草
23014	東幡豆
23015	河和

24. 三重県

港湾コード	港湾名称
24001	四日市
24002	尾鷲
24003	桑名
24004	千代崎
24005	津松阪
24006	白子
24008	宇治山田
24009	五ヶ所
24010	吉津
24011	鳥羽
24012	的矢
24013	浜島
24014	長島
24015	引本
24016	木本
24017	二木島
24018	鵜殿
24019	賀田
24020	賢島
24021	三木里

25. 滋賀県

港湾コード	港湾名称
25001	大津
25002	彦根
25003	長浜
25004	竹生島

26. 京都府

港湾コード	港湾名称
26001	舞鶴
26002	久美浜
26003	宮津
26004	伏見

27. 大阪府

港湾コード	港湾名称
27001	大阪
27002	堺泉北
27003	阪南
27004	淡輪
27005	深日
27006	尾崎
27008	二色
27009	泉佐野
27010	泉州

28. 兵庫県

港湾コード	港湾名称
28001	神戸
28002	姫路
28003	尼崎西宮芦屋
28004	東播磨
28006	明石
28007	岩屋
28008	津名
28009	洲本
28010	津屋山
28011	柴山
28012	江井ヶ島
28013	相生
28014	赤穂
28015	由良
28016	阿万
28017	福良
28018	都志
28019	湊
28020	郡家
28021	室津
28022	竹野
28023	家島
28024	坂越
28025	浦
28026	津井
28027	江井
28028	古池
28029	古茂江
28031	山田
28032	淡路交流の翼

30. 和歌山県

港湾コード	港湾名称
30001	和歌山下津
30002	文里
30003	大川
30004	勝浦
30005	由良
30006	加太
30007	湯浅広
30008	浦神
30009	宇久井
30010	袋
30011	日置
30012	古座

港湾・海岸・空港コード一覧表

30. 和歌山県

港湾コード	港湾名称
30013	日高
30014	大島
30015	新宮

31. 鳥取県

港湾コード	港湾名称
31001	米子
31002	赤碕
31004	田後
31005	小浜
31006	石脇
31007	逢坂
31008	豊成
31009	中浜
31010	鳥取
31999	境

32. 島根県

港湾コード	港湾名称
32001	浜田
32002	西郷
32003	松江
32004	益田
32005	久手
32006	河下
32007	七類
32008	江津
32009	安来
32010	日鷹
32011	知々井
32012	別府
32013	来居
32014	小田東
32015	大津久
32016	飯美
32017	卯敷
32018	灘山
32019	山谷
32020	島津屋
32021	魚津
32022	国賀
32023	生湯
32024	伊野灘
32025	釜
32026	伊後
32027	西村
32028	二俣
32029	黒田
32030	中山
32032	波入
32033	遅江
32034	吉浦(浜田)
32037	宅野
32038	舟津
32039	網屋
32040	波止
32041	宇賀

32. 島根県

港湾コード	港湾名称
32042	美田
32044	物井
32045	倉の谷
32048	古海
32049	竹名
32050	木佐根
32051	姫の浦
32052	堤
32053	御波
32054	保々見
32055	須賀
32056	日之津
32057	諏訪
32058	長尾田
32059	代
32060	重栖
32061	笠浦
32062	千酌
32063	菅浦
32064	笹子
32065	惣津
32066	法田
32067	諸喰
32068	軽尾
32069	才
32070	海崎
32072	佐波
32073	吉浦(大田)
32074	高島
32075	遠井
32076	持石
32077	喜阿弥
32078	論田
32080	意東
32081	入江
32082	寺津(八束)
32083	二子
32084	江島
32085	手角
32087	揖屋
32088	長江
32089	秋鹿
32090	岡本
32091	湯町
32092	温泉津
32093	海士
32094	寺津(松江)
32095	秋鹿北
32096	三隅
32097	汐浜
32098	小津久

33. 岡山県

港湾コード	港湾名称
33001	宇野
33002	水島
33003	岡山
33004	東備
33007	牛窓
33010	山田
33011	北木島
33012	下津井
33013	笠岡
33015	児島
33016	寒河
33018	鴻島
33019	久々井
33020	布浜
33021	間口
33022	知尾
33023	玉津
33024	幡
33026	網代
33027	黄島
33029	師楽
33030	犬島
33031	米倉
33032	松尾
33033	江の浜
33034	石島
33035	後閑
33036	大藪
33037	野々浜
33040	渋川
33041	大浜
33042	松島
33044	豊浦
33045	丸岩
33046	小飛鳥
33047	大浦
33048	大飛鳥
33049	前浦

34. 広島県

港湾コード	港湾名称
34001	福山
34002	尾道糸崎
34003	広島
34004	呉
34005	横田
34006	中浜
34007	瀬戸田
34008	重井
34009	土生
34010	大西
34011	忠海
34012	竹原
34013	木江
34014	鯨崎
34015	御手洗

34. 広島県

港湾コード	港湾名称
34016	安芸津
34017	蒲刈
34018	川尻
34019	釣土田
34020	大柿
34021	鹿川
34023	厳島
34024	大竹
34025	千年
34026	佐木
34027	中田
34028	小用(江田島)
34029	生口
34030	三高
34031	鷲部矢の浦
34032	大須
34033	津久茂
34034	阿伏兎
34036	大迫
34037	袋の内
34038	奥の内
34039	波多見
34040	吉悪
34041	小用(川尻)
34042	福田
34044	椋浦
34045	鹿田
34046	鹿海
34047	須波

35. 山口県

港湾コード	港湾名称
35001	下関
35002	徳山下松
35003	岩国
35004	三田尻中関
35005	宇部
35006	小野田
35007	柳井
35008	久賀
35009	小松
35010	室津
35011	厚狭
35012	特牛
35013	萩
35014	角島
35015	油谷
35016	由宇
35017	大島
35018	伊保田
35019	山口
35020	平生
35021	丸尾
35022	秋穂
35023	青江
35024	柱島
35025	白木
35026	日良居

35. 山口県

港湾コード	港湾名称
35027	油良
35028	笠佐
35029	沖浦
35030	埴生
35031	小串
35032	仙崎
35033	深川
35034	飯井
35035	尾島
35036	檀島
35037	羽島
35038	相島
35039	田部
35040	須佐
35041	安下佐
35042	肥島
35043	沖浦西
35044	山口東

36. 徳島県

港湾コード	港湾名称
36001	徳島小松島
36002	橘
36003	折野
36004	撫養
36005	今切
36006	富岡
36007	日和佐
36008	浅川
36009	那佐
36010	中島
36011	亀浦
36012	粟津

37. 香川県

港湾コード	港湾名称
37001	高松
37002	坂出
37003	引田
37004	三本松
37005	津田
37006	志度
37007	直島
37008	宇多津
37009	丸亀
37010	多度津
37011	詫間
37012	仁尾
37013	豊浜
37014	池田
37015	白鳥
37016	土庄
37017	坂手
37018	牟礼
37019	大部
37020	内海
37021	観音寺
37022	土庄東

37. 香川県

港湾コード	港湾名称
37023	家浦
37024	風戸
37025	屏風
37026	宮浦
37027	青木
37028	手島
37029	葛原
37030	大島
37031	室本
37032	女木
37033	男木
37034	立石
37035	石場
37036	長崎鼻
37037	粟島
37038	志々島
37039	船越
37040	箱浦
37041	粟島西
37042	船隠
37043	久通
37044	猪塚
37046	与島
37048	木沢
37049	江の浦
37050	大浦
37051	本島
37052	三都
37053	室生北
37054	吉野崎
37055	庵治
37056	里浦
37057	新在家
37058	小浦
37059	生ノ浜
37060	尻浜
37061	馬越
37062	小豊島
37063	北浦
37064	江島
37065	小瀬
37066	高見
37067	佐柳
37068	見立
37069	安戸

港湾・海岸・空港コード一覧表

38. 愛媛県

港湾コード	港湾名称
38001	松山
38002	宇和島
38003	新居浜
38004	今治
38005	八幡浜
38006	東予
38007	三島川之江
38009	寒川
38010	伯方
38011	菊間
38012	北条
38013	中島
38014	松前
38015	伊予
38016	長浜
38017	玉津
38018	岩松
38019	御荘
38020	引削
38021	波止浜
38022	川之石
38023	波方
38024	三崎
38025	宮浦
38026	富海
38027	大見
38028	上浦
38031	岡村
38033	大下
38034	早ノ浦
38035	田川
38036	四坂
38037	前浜
38038	古江
38039	枝越
38040	熊口
38041	有津
38042	北浦
38043	小漕
38044	西部
38045	長江
38046	生名
38047	立石
38048	森上
38049	堀江
38050	伊方
38051	三机
38052	三瓶
38053	吉田
38056	西中
38205	桜井河口

39. 高知県

港湾コード	港湾名称
39001	高知
39002	須崎
39003	甲浦
39004	佐喜浜
39005	室津
39006	奈半利
39007	手結
39008	久礼
39009	上ノ加江
39010	佐賀
39011	上川口
39012	下田
39013	下ノ加江
39014	以布利
39015	清水
39016	三崎
39017	下川口
39022	あしずり
39023	宿毛湾

40. 福岡県

港湾コード	港湾名称
40001	北九州
40002	博多
40003	苅田
40004	大島
40005	若津
40006	宇島
40008	大牟田
40009	三池
40010	芦屋

41. 佐賀県

港湾コード	港湾名称
41001	唐津
41002	伊万里
41003	住ノ江
41004	大浦
41005	諸富
41006	呼子
41007	星賀
41008	鹿島
41009	仮屋

42. 長崎県

港湾コード	港湾名称
42001	長崎
42002	厳原
42003	郷ノ浦
42004	福江
42005	佐世保
42006	島原
42007	比田勝
42008	茂木
42009	有川
42010	崎戸
42011	臼ノ浦

42. 長崎県

港湾コード	港湾名称
42012	田平
42013	瀬戸
42014	脇岬
42015	江迎
42016	伊王島
42017	須川
42018	宮浦
42019	口ノ津
42020	肥前大島
42021	高島
42022	小長井
42023	富江
42024	勝本
42025	平戸
42026	印通寺
42027	西郷
42028	小茂田
42029	大村
42030	岐宿
42031	若松
42033	池島
42034	佐々
42035	川内
42036	調川
42037	彼杵
42038	青方
42039	鹿見
42040	松島
42041	時津
42042	川棚
42043	玉ノ浦
42044	多比良
42045	太田和
42046	仁位
42047	竹敷
42049	瀬川
42050	仁田
42051	相の浦
42052	福島
42053	大島
42054	小浜
42055	佐須奈
42057	太田尾
42058	早岐
42059	久山
42060	松浦
42061	古里
42062	小口
42063	大瀬戸柳
42064	田結
42065	神代
42066	七ツ釜
42070	石田
42071	三里
42072	淵ノ元
42073	曾根
42075	堂崎

42. 長崎県

港湾コード	港湾名称
42076	阿房下
42078	古江
42079	獅子吼
42080	床浪
42082	東望
42084	神崎
42085	城ノ下
42086	岳崎
42090	大川原
42094	三浦船津
42096	三代
42098	鯨ヶ浦
42099	久吹
42100	大塔
42103	原
42106	森ノ浜
42107	紐差
42110	小瀬良
42112	大川
42114	小迎
42118	面高
42119	中の浦
42122	浜脇
42123	折紙
42124	毛吹
42129	カヅメ
42131	浜窄
42133	芦ノ浦
42134	櫻津
42135	郷ノ首
42136	長与
42137	神ノ浦
42138	柗島
42140	曾ノ浦
42141	下田
42142	峰

43. 熊本県

港湾コード	港湾名称
43001	三角
43002	八代
43003	水俣
43004	佐敷
43005	大門
43006	長洲
43007	富岡
43008	姫戸
43009	鬼池
43010	本渡
43011	百貫
43012	大浦
43013	高浜
43014	河内
43015	合津
43016	上津深江
43017	都呂々

43. 熊本県

港湾コード	港湾名称
43020	天草
43035	上天草
43036	日奈久
43040	荒尾
43041	牛深
43042	田浦
43043	呑崎
43052	鏡
43054	熊本

44. 大分県

港湾コード	港湾名称
44001	大分
44002	津久見
44003	別府
44004	臼杵
44005	高田
44006	姫島
44007	国東
44008	日出
44009	佐賀関
44010	佐伯
44011	中津
44016	丸尾
44017	浦代
44019	堅来
44020	下ノ江
44021	守ノ江
44022	白野
44027	小高島
44029	羽根
44030	真玉

45. 宮崎県

港湾コード	港湾名称
45001	細島
45002	油津
45003	内海
45004	福島
45005	外浦
45006	延岡
45007	美々津
45009	古江
45010	熊野江
45012	大島
45015	延岡新
45016	平岩
45017	宮崎
45019	黒井
45020	高鍋
45021	大納

46. 鹿児島県

港湾コード	港湾名称
46001	鹿児島
46002	西之表
46003	名瀬
46004	大泊
46005	米之津
46006	西方
46007	黒之浜
46008	瀬戸
46009	指江
46010	宮之浦(屋久島)
46011	川内
46012	新川
46013	指宿
46014	宮ヶ浜
46015	加治木
46016	隼人
46017	福山
46018	垂水
46019	桜島
46020	鹿屋
46021	高須
46022	大根占
46023	根占
46024	波見
46025	志布志
46026	浜津脇
46027	島間
46028	田之脇
46029	安房
46030	宮之浦(長島)
46031	平土野
46032	湾
46033	隼徳
46034	和泊
46035	与論
46036	中之島
46037	古仁屋
46038	硫黄島
46039	栗生
46040	高之口
46042	大漕
46043	小漕
46044	八郷
46047	獅子島
46049	長島
46060	桑之浦
46061	江石
46062	小浦
46063	松ヶ浦
46064	西塩屋
46065	聖ヶ浦
46066	東塩屋
46067	平崎
46068	瀬崎
46069	魚見

港湾・海岸・空港コード一覧表

46. 鹿児島県

港湾コード	港湾名称
46071	竹島
46072	片泊
46073	大里
46074	前之浜
46075	元浦(十島)
46076	やすら浜
46077	南之浜
46079	浮津
46080	二川
46081	桜島(野尻)
46085	浜尻
46087	内之浦辺塚
46088	大浦
46089	岸良
46091	大久保
46092	大崎
46093	立山
46094	伊関
46096	浅川
46097	王籠
46098	上ノ古田
46099	馬毛島岬
46100	椎ノ木
46101	屋久津
46102	増田
46103	牧川
46104	大塩屋
46105	広田
46106	田尻
46107	門倉
46108	楠川
46109	柳川
46110	湯向
46112	岩屋泊
46113	上屋久永田
46114	尾之間
46115	小島
46116	湯泊
46117	中間
46118	鯛ノ川
46119	赤木名
46120	大笠利
46121	屋仁
46122	大和
46124	湯湾
46125	名柄
46127	与路
46130	加計呂麻
46132	篠川
46133	請島
46135	戸口
46136	山間
46137	母間
46138	鹿浦
46139	面縄
46144	喜界島
46145	伊延
46146	長浜

46. 鹿児島県

港湾コード	港湾名称
46147	片側
46148	住吉
46150	里
46151	喜入
46153	竜郷
46160	切石
46161	宝島
46162	小宝島
46163	上屋久元浦
46164	串木野新
46175	和野
46178	管鈍
46179	円
46180	芦徳
46181	百合ヶ浜
46182	東之浜
46183	知名瀬
46184	七ツ山

47. 沖縄県

港湾コード	港湾名称
47001	那覇
47002	運天
47003	平良
47004	石垣
47006	塩屋
47007	古宇利
47008	伊江
47011	本部
47012	徳仁
47013	前泊(伊平屋)
47014	野甫
47015	野田
47016	北大東
47019	南大東
47022	粟国
47023	兼城
47024	渡嘉敷
47025	安護の浦
47026	座間味
47027	長山
47028	來間・前浜
47029	水納(多良間)
47030	多良間
47032	竹富東
47033	小浜
47034	黒島
47035	上地
47036	仲間
47038	船浮
47039	白浜
47040	租納(竹富)
47041	船浦
47042	鳩間
47043	租納(与那国)
47044	水納(本部)
47049	慶留間
47050	金武湾
47051	中城湾
47052	奥
47053	宜野湾
47054	内花

【海岸】

海岸コード	海岸名称
03301	釜石(海岸)
03302	久慈(海岸)
13301	東京(海岸)
14301	横須賀(海岸)
15301	新潟(海岸)
18301	福井(海岸)
24301	津松阪(海岸)
30301	和歌山下津(海岸)
34301	広島(海岸)
35301	下関(海岸)
36301	撫養海岸
36302	徳島(海岸)
37301	高松(海岸)
38301	松山(海岸)
39301	須崎(海岸)
39302	高知(海岸)
44301	別府(海岸)
44302	大分(海岸)
46301	指宿(海岸)

【空港】

空港コード	空港名称
01801	函館空港
01802	釧路空港
01803	千歳飛行場
01804	新千歳空港
01805	稚内空港
01806	札幌飛行場(丘珠)
01807	旭川空港
01808	帯広空港
02801	三沢飛行場
04801	仙台空港
05801	秋田空港
06801	山形空港
08801	百里飛行場(茨城)
12801	成田国際空港
13801	東京国際空港
13802	調布飛行場
15801	新潟空港
17801	小松飛行場
23802	中部国際空港
27801	大阪国際空港
27802	八尾空港
27803	関西国際空港
31801	美保飛行場(米子)
34801	広島空港
35801	山口宇部空港
35802	岩国飛行場
36801	徳島飛行場
37801	高松空港
38801	松山空港
39801	高知空港
40802	福岡空港
40803	北九州空港
42801	長崎空港
43801	熊本空港
44801	大分空港
45801	宮崎空港
46801	鹿児島空港
47801	那覇空港

【その他】

その他コード	その他名称
60001	港湾局
60116	東北地方整備局管内
60117	関東地方整備局管内
60118	北陸地方整備局管内
60119	中部地方整備局管内
60120	近畿地方整備局管内
60121	中国地方整備局管内
60122	四国地方整備局管内
60123	九州地方整備局管内
60201	北海道開発局管内
60202	札幌開発建設部管内
60203	函館開発建設部管内
60204	小樽開発建設部管内
60205	室蘭開発建設部管内
60206	釧路開発建設部管内
60207	帯広開発建設部管内
60208	網走開発建設部管内
60209	留萌開発建設部管内
60210	稚内開発建設部管内
60301	沖縄総合事務局管内
60401	国土技術政策総合研究所(横浜実行舎)
61001	中ノ瀬航路
61002	浦賀水道航路
61003	中山水道航路
61004	菅ノ瀬戸航路
61005	門門航路
61006	備讃瀬戸航路
61007	来島海峡航路
61008	鼻栗瀬戸航路
61009	奥南航路
61010	細木航路
61011	船越航路
61012	四国西南航路
61013	宮ノ窪瀬戸航路
61014	万間瀬戸航路
61015	蝶々ノ瀬戸航路
61016	平ノ瀬戸航路
61017	本渡瀬戸航路
61018	竹富南航路
62001	東京湾
62002	三河湾
62003	伊勢湾
62004	大阪湾
62005	瀬戸内海
62006	瀬戸内海(兵庫)
62007	瀬戸内海(和歌山)
62008	瀬戸内海(岡山)
62009	瀬戸内海(広島)
62010	瀬戸内海(山口)
62011	瀬戸内海(徳島)
62012	瀬戸内海(香川)
62013	瀬戸内海(愛媛)
62014	瀬戸内海(福岡)
62015	有明・八代海

資料-2
レイヤ名一覧表

1. 位置図

位置図の作成は以下の通りとする。

項目	内容
尺度	対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	(1)対象位置(対象区域、対象区間)、延長(面積)、施設名称、方位 (2)その他必要と認める事項
備考	地形図、港湾計画図等のラスターデータを利用してもよい。

【解説】

位置図は、設計段階ではあまり再利用されないが、施工段階においては施工計画等に再利用されるため、電子化されたデータで納品することが望ましい。

基本となる地形図等が電子化されていない場合は、市販地図、港湾計画図をラスターデータに変換して利用することとなるが、国土地理院等著作権者の許諾を得る等の方策について、予め受発注者間で協議し設計を進めることが望ましい。

その他必要と認める事項には、以下の項目が挙げられる。

- ・工事の施工に必要となる(仮)基準点・水準点の位置と座標（2.平面図で作成する図面から外れた地点に位置する場合）

なお、位置図を平面図（ex.一般平面図、全体平面図）の一部として1枚の図面に描く場合には、平面図の規定にも準拠することとする。

レイヤー一覧

レイヤー名			レイヤーに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BGD		現況地物	暗灰	
		-HICN	等高線（等深線）の計曲線及びその標高	赤	
		-LWCN	等高線（等深線）の主曲線及びその標高	白	
		-RSTR	ラスター化された地図	-	
		-EXST	特に明示すべき現況地物	暗灰	
		-UGND	既設埋設物	茶	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BMK		基準線（中心線、法線、等）	黄	一点鎖線
		-SRVR	基準となる点（座標ポイント）	緑	
		-ROW	用地境界	橙	実線
		-DRCT	方位	黄	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-TXT	基準点座標等の文字列	白	
	-STR	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤	
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
		-STR3	上部工	赤	
		-STR4	舗装工	赤	
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
		-STR7	消波工	赤	
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
		-STRn	その他	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
		-BYP	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤
	-STR2		本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤	
	-STR3		上部工	赤	
	-STR4		舗装工	赤	
	-STR5		基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤	
	-STR6		地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤	
	-STR7		消波工	赤	
	-STR8		土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤	
	-STR9		付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤	
	-STRn		その他	赤	
	-TXT		文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
	-HTXT		旗揚げ	白	
	-DIM		寸法線、寸法値	白	
-DCR	-HCH1		ハッチ部1	明灰	
	-HCHn	ハッチ部n	任意		
	-MARK	石のマークなどの飾り記号	薄緑		
	-TIDE	潮位、水位（図）	明青		
	-WIND	風向、風速（図）	明青		
	-FRAM	凡例図枠	橙		
	-LINE	罫線	白		
	-TXT	凡例等の文字列	白		
	-DOC	説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白		
-SUV	地形図等の改変しない測量成果データ	任意	任意		

2. 平面図

平面図の作成は以下の通りとする。

項目	内容
尺度	対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	(1) 測量段階で示される項目 <ul style="list-style-type: none"> ・地形(水中部を含む)、既設構造物位置、方位、工事に関する(仮)基準点・水準点の位置及び高さ ・用地境界線(水域境界を含む)、港湾名・地区名、主要施設名称 (2) 設計段階で示される項目 <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設・部位名称、法線・中心線、延長・形状寸法 ・既設構造物との関係 ・その他必要と認める事項
備考	測量に関する情報は、基本的に以下の通りとするが、特記仕様書等で別途規定がある場合はその規定を優先することとする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 測量の地形データと計画線を同じファイルに保存する。 (2) 測点は20m毎とし、起点から終点に向かって追番号または追記号及びそれらの組合せとする。 (3) 測点の配列方法は図面の左端(下端)を起点とし、右方向(上方向)に配列する。

【解説】

設計段階で作成する平面図は、対象施設を含む区域（範囲）と対象施設を、全体平面図、一般平面図、施設配置図等の図面名称で描かれる。

ここでは、これらの名称で作成される平面図を対象として規定した。

レイヤー一覧

レイヤー名		レイヤーに含まれる内容	線色	線種		
責任主体	図面オブジェクト				作図要素	
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線	
		-FRAM	タイトル枠	橙		
		-LINE	区切り線、罫線	白		
		-TXT	文字列	白		
	-BGD		現況地物	暗灰		
		-HICN	等高線（等深線）の計曲線及びその標高	赤		
		-LWCN	等高線（等深線）の主曲線及びその標高	白		
		-RSTR	ラスター化された地図	-		
		-EXST	特に明示すべき現況地物	暗灰		
		-UGND	既設埋設物	茶		
		-HTXT	旗揚げ	白		
		-DIM	寸法線、寸法値	白		
	-BMK		基準線（中心線、法線、等）	黄		一点鎖線
		-SRVR	基準となる点（座標ポイント）	緑		
		-ROW	用地境界	橙		
		-DRCT	方位	黄		
		-HTXT	旗揚げ	白		
	-STR	-TXT	基準点座標等の文字列	白		
		-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤		
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤		
		-STR3	上部工	赤		
		-STR4	舗装工	赤		
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤		
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤		
		-STR7	消波工	赤		
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤		
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤		
		-STRn	その他	赤		
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白		
		-HTXT	旗揚げ	白		
		-DIM	寸法線、寸法値	白		
	-BYP	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤		実線
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤		
		-STR3	上部工	赤		
		-STR4	舗装工	赤		
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤		
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤		
		-STR7	消波工	赤		
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤		
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤		
		-STRn	その他	赤		
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白		
		-HTXT	旗揚げ	白		
		-DIM	寸法線、寸法値	白		
		-DCR	-HCH1	ハッチ部1		
	-HCHn		ハッチ部n	任意		
	-MARK		石のマークなどの飾り記号	薄緑		
-TIDE	潮位、水位（図）		明青			
-WIND	風向、風速（図）		明青			
-FRAM	凡例図枠		橙			
-LINE	罫線		白			
-TXT	凡例等の文字列		白			
-DOC	説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等		白			
-SUV	地形図等の改変しない測量成果データ		任意	任意		

3. 標準断面図・横断面図

標準断面図・横断面図の作成は以下の通りとする。

項目	内容
尺度	対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	標準断面図 標準断面図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 施設法線、中心線 (3) 現況地盤線、推定地層境界線(推定支持層線を含む) (4) 潮位 (5) 既設構造物及びその位置関係 (6) その他必要と認める事項
	横断面図 横断面図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 施設法線、中心線 (3) 現況地盤線 (4) 潮位 (5) 既設構造物及びその位置関係 (6) 測点・測線番号 (7) その他必要と認める事項
備考	縦横比の異なる図面を作図する場合には、使用するCADソフトにより対応が異なるため、対応方法を関係者間で協議する。

【解説】

標準断面図は、対象区間のうち代表的な断面及び特殊な断面について作成するものとする。

設計で使用した地質調査結果がある場合、あるいは設計で想定した地質想定結果が数量算定や工事施工に影響する場合には、推定地層境界線(推定支持層線を含む)を標準断面図・横断面図に記載するものとする。

横断面図は原則として表題欄に重ならないようにする。ただし、横断面図の横幅が大きく表題欄の余白が確保できない場合には、表題欄の位置を変更してもよいこととする。

横断面図の視方向は、起点から終点方向とすることを原則とする。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種	
責任主体	図面オブジェクト	作図要素				
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線	
		-FRAM	タイトル枠	橙		
		-LINE	区切り線、罫線	白		
		-TXT	文字列	白		
	-BGD		現況地物	暗灰		
		-EXGL	現況地盤線	青紫		
		-BNDR	推定地層境界線	青		
		-ETRL	推定支持層線	青		
		-UGND	既設埋設物	茶		
		-BRG	ポーリング柱状図	任意		
		-HTXT	旗揚げ	白		
		-DIM	寸法線、寸法値	白		
		-BMK	-BMK1	構造物基準線1（中心線、法線、用地境界線、等）		黄
	-BMK2		構造物基準線2（標高の目盛、破断線）	黄		
	-HTXT		旗揚げ	白		
	-STR	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）	赤		実線
		-STR2	本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤		
		-STR3	上部工	赤		
		-STR4	舗装工	赤		
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤		
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤		
		-STR7	消波工	赤		
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤		
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤		
		-STRn	その他	赤		
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白		
		-HTXT	旗揚げ	白		
		-DIM	寸法線、寸法値	白		
		-BYP	-STR1	本体工1（ケーソン、ブロック、等）		
	-STR2		本体工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤		
	-STR3		上部工	赤		
	-STR4		舗装工	赤		
	-STR5		基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤		
	-STR6		地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤		
	-STR7		消波工	赤		
	-STR8		土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤		
	-STR9		付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤		
	-STRn		その他	赤		
	-TXT		文字列（各図面要素のタイトル、等）	白		
	-HTXT		旗揚げ	白		
	-DIM		寸法線、寸法値	白		
	-MTR			材料表タイトル		白
		-FRAM	材料表枠	橙		
-LINE		罫線	白			
-TXT		文字列	白			
-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰			
	-HCHn	ハッチ部n	任意			
	-MARK	石のマークなどの飾り記号	薄緑			
	-TIDE	潮位、水位（図）	明青			
	-WIND	風向、風速（図）	明青			
	-FRAM	凡例図枠	橙			
	-LINE	罫線	白			
	-TXT	凡例等の文字列	白			
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等		白	任意
-SUV		地形図等の改変しない測量成果データ	任意			

4. 縦断面図・正面図

縦断面図及び正面図の作成は以下の通りとする。	
項目	内容
尺度	縮尺は、以下を標準とする。 $H=1:1 \times 10^n$ 、 $V=1:2 \times 10^{(n-1)}$ 、または、 $H=1:1 \times 10^n$ 、 $V=1:5 \times 10^{(n-1)}$ なお、上記によらない場合は対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	縦断面図 縦断面図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 現況地盤線、推定地層境界線(推定支持層線を含む) (3) 潮位 (4) 既設構造物及びその位置関係 (5) 帯部は以下の順番に記載する。 1) 縦断勾配線 2) 計画高(計画天端高、計画基礎マウンド高、等) 3) 現況地盤高 4) 追加距離 5) 単距離 6) 測点・測線番号 (6) その他必要と認める事項
	正面図 正面図の記載項目は、以下を基本とする。 (1) 対象施設本体(上部工、本体工、基礎工、付帯工、地盤改良工、等)及び名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2) 現況地盤線 (3) 潮位 (4) 既設構造物及びその位置関係 (5) 測点・測線番号 (6) その他必要と認める事項
備考	縦横比の異なる図面を作図する場合には、使用するCADソフト

【解説】

縦断面図及び正面図の作成に際しては、以下の点についても留意する。

- ・ 起点を左に、終点を右にすることを原則とする。
- ・ 平面図と正面図(または縦断面図)を併記する場合には、上段に平面図、下段に正面図(または縦断面図)を作図する。

レイヤー一覧

責任主体	レイヤー名		レイヤーに含まれる内容	線色	線種			
	図面オブジェクト	作図要素						
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線			
		-FRAM	タイトル枠	橙				
		-LINE	区切り線、罫線	白				
		-TXT	文字列	白				
		-BAND	縦断図の帯	白				
	-BGD		現況地物	暗灰				
		-EXGL	現況地盤線	青紫				
		-BNDR	推定地層境界線	青				
		-ETRL	推定支持層線	青				
		-UGND	既設埋設物	茶				
		-BRG	ボーリング柱状図	任意				
		-HTXT	旗揚げ	白				
		-DIM	寸法線、寸法値	白				
		-BMK	-BMK1	構造物基準線1（中心線、法線、用地境界線、等）		黄	一点鎖線	
	-BMK2		構造物基準線2（標高の目盛、破断線）	黄				
	-HTXT		旗揚げ	白				
	-STR	-STR1	本土工1（ケーソン、ブロック、等）	赤		実線		
		-STR2	本土工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）	赤				
		-STR3	上部工	赤				
		-STR4	舗装工	赤				
		-STR5	基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤				
		-STR6	地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤				
		-STR7	消波工	赤				
		-STR8	土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤				
		-STR9	付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤				
		-STRn	その他	赤				
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白				
		-HTXT	旗揚げ	白				
		-DIM	寸法線、寸法値	白				
		-BYP	-STR1	本土工1（ケーソン、ブロック、等）			赤	実線
			-STR2	本土工2（矢板、杭、タイ材、腹起、等）			赤	
	-STR3		上部工	赤				
	-STR4		舗装工	赤				
	-STR5		基礎工・裏込工（基礎捨石、裏込石、等）	赤				
	-STR6		地盤改良工（SD、SCP、DM、等）	赤				
	-STR7		消波工	赤				
	-STR8		土工（浚渫、床掘、切土・盛土、等）	赤				
	-STR9		付属工（係船柱、防舷材、車止め、電防、等）	赤				
	-STRn		その他	赤				
	-TXT		文字列（各図面要素のタイトル、等）	白				
	-HTXT		旗揚げ	白				
	-DIM		寸法線、寸法値	白				
	-MTR			材料表タイトル		白		
			-FRAM	材料表枠		橙		
		-LINE	罫線	白				
		-TXT	文字列	白				
	-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰				
		-HCHn	ハッチ部n	任意				
		-MARK	石のマークなどの飾り記号	薄緑				
		-TIDE	潮位、水位（図）	明青				
		-WIND	風向、風速（図）	明青				
		-FRAM	凡例図枠	橙				
		-LINE	罫線	白				
		-TXT	凡例等の文字列	白				
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白		任意		
	-SUV		地形図等の改変しない測量成果データ	任意				

5. 構造図・詳細図・製作図

構造図、詳細図、製作図の作成は以下の通りとする。

項目		内容
尺度		縮尺は、以下を標準とする。 1:1×10 ⁿ 、1:2×10 ⁿ 、または、5×10 ⁿ なお、上記によらない場合は対象範囲の大きさにより、CAD製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	構造図 詳細図 製作図	記載項目は、以下を基本とする。 (1)対象構造物の側面図、平面図、断面図と名称、仕様、形状寸法(法面勾配を含む) (2)材料表(名称、規格・寸法、数量、等) (3)その他必要と認める事項
備考		1枚の図面に異なる尺度の構造物を複数作図する場合には、使用するCADソフトにより対応が異なるため、対応方法を関係者間で協議する。

【解説】

形状の表示において、形鋼、鋼矢板・鋼杭、薄板構造等の表示は、実寸で表すのが望ましい。このとき板材の形状を図示する場合、板の厚みを2本の線で表現する。

なお、紙に出力した場合見えにくくなる部分に関しては、寸法の表現で対応するものとする。

ボルト接合におけるボルトの記号は、ボルトの形状や締め付け施工場所により表すものとする。また、ボルトの表示については十字の中心に黒丸を書くこととしてもよい。

レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BMK	-BMK1	構造物基準線1 (中心線、法線、等)	黄	一点鎖線
		-BMK2	構造物基準線2 (破断線)	黄	
		-HTXT	旗揚げ	白	
	-STR	-STR1	構造物1 (主構造物外形線)	赤	実線
		-STR2	構造物2 (吊り筋、等)	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列 (各図面要素のタイトル、等)	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP	-STR1	構造物1 (主構造物外形線)	赤	
		-STR2	構造物2 (吊り筋、等)	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列 (各図面要素のタイトル、等)	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-MTR		材料表タイトル	白	
		-FRAM	材料表枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰		
	-HCHn	ハッチ部n	任意		
	-MARK	石、コンクリートなどのマークの飾り	薄緑		
	-FRAM	凡例図枠	橙		
	-LINE	罫線	白		
	-TXT	凡例等の文字列	白		
	-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白	

6. 配筋図

配筋図の作成は以下の通りとする。

項目	内容
尺度	縮尺は、1:10～1:100 を標準とする。 なお、上記によらない場合は対象範囲の大きさにより、 CAD 製図基準「1-4-5 尺度」の規定と解説に従って適宜設定する。
記載事項	配筋図の記載事項は、以下を基本とする。 (1) 対象構造物の形状寸法(平面図、断面図、等による) (2) 鉄筋配置図(鉄筋番号、鉄筋径、配置、等) (3) 鉄筋加工図(鉄筋番号、鉄筋径、加工形状、本数、等) (4) 鉄筋表(鉄筋番号、鉄筋径、本数、重量、等) (5) その他必要と認める事項
備考	1 枚の図面に異なる尺度の構造物を複数作図する場合には、 使用する CAD ソフトにより対応が異なるため、対応方法を 関係者間で協議する。

【解説】

配筋図は、鉄筋の配置や PC 鋼材の配置など、主にコンクリートの内部を表現し、鉄筋その他の加工や配置を決める重要な図面である。配筋図では、切断面に現れた鉄筋を一本の実線で示すことを原則とし、必要に応じて切断面に現れない鉄筋を破線・一点鎖線で示すこととする。

鉄筋はその目的に応じて種々の径のものが使用されるが、これらすべてを径に応じた太さの線で表現しなくても良い。

鉄筋の断面は、円を塗りつぶして紙に出力するのが原則とする。

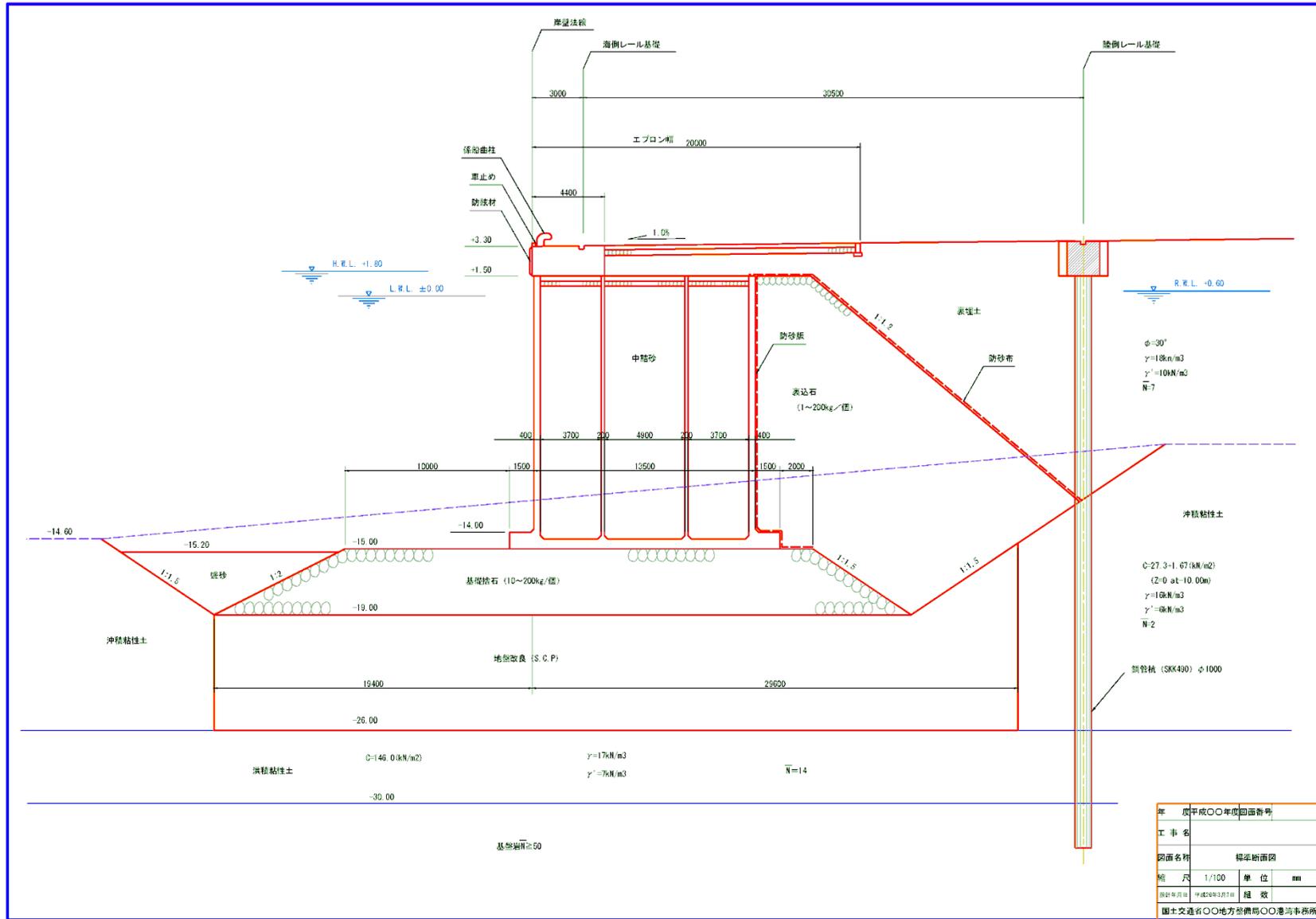
レイヤー一覧

レイヤ名			レイヤに含まれる内容	線色	線種
責任主体	図面オブジェクト	作図要素			
S D C M	-TTL		輪郭線	青	実線
		-FRAM	タイトル枠	橙	
		-LINE	区切り線、罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-BMK		構造物基準線（中心線、等）	黄	一点鎖線
		-HTXT	旗揚げ	白	
	-STR		構造物外形線	緑	実線
		-STR1	構造物1（配筋図）	赤	
		-STR2	構造物2（鉄筋加工図）	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-BYP		構造物外形線	緑	実線
		-STR1	構造物1（配筋図）	赤	
		-STR2	構造物2（鉄筋加工図）	赤	
		-STRn	構造物n	赤	
		-TXT	文字列（各図面要素のタイトル、等）	白	
		-HTXT	旗揚げ	白	
		-DIM	寸法線、寸法値	白	
	-MTR		材料表タイトル	白	
		-FRAM	材料表枠	橙	
		-LINE	罫線	白	
		-TXT	文字列	白	
	-DCR	-HCH1	ハッチ部1	明灰	
		-HCHn	ハッチ部n	任意	
		-FRAM	凡例図枠	橙	
-LINE		罫線	白		
-TXT		文字列	白		
-DOC		説明、指示、参照事項、模式図の案内図、等	白		

図面作成例

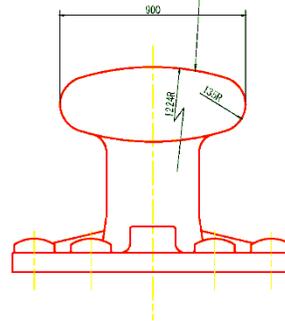
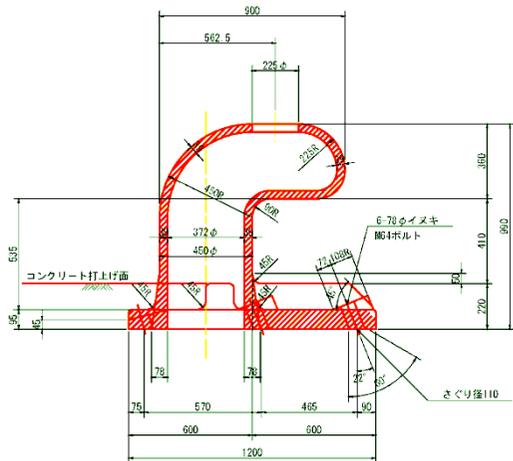
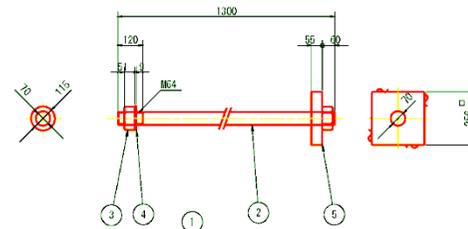
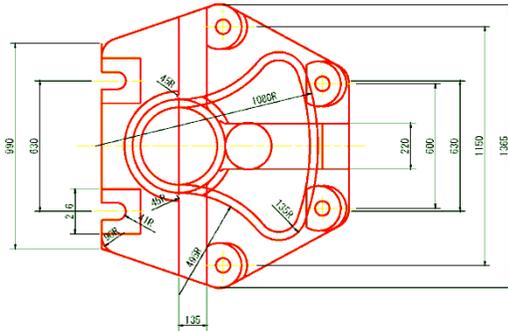
- (1)ケーソン式係船岸
- (2)直杭式横棧橋

(1) ケーソン式係船岸 (標準断面図)



(けい船曲柱構造図)

01-02-008-1971
 けい船曲柱100t型標準設計図
 S=1/10 単位mm



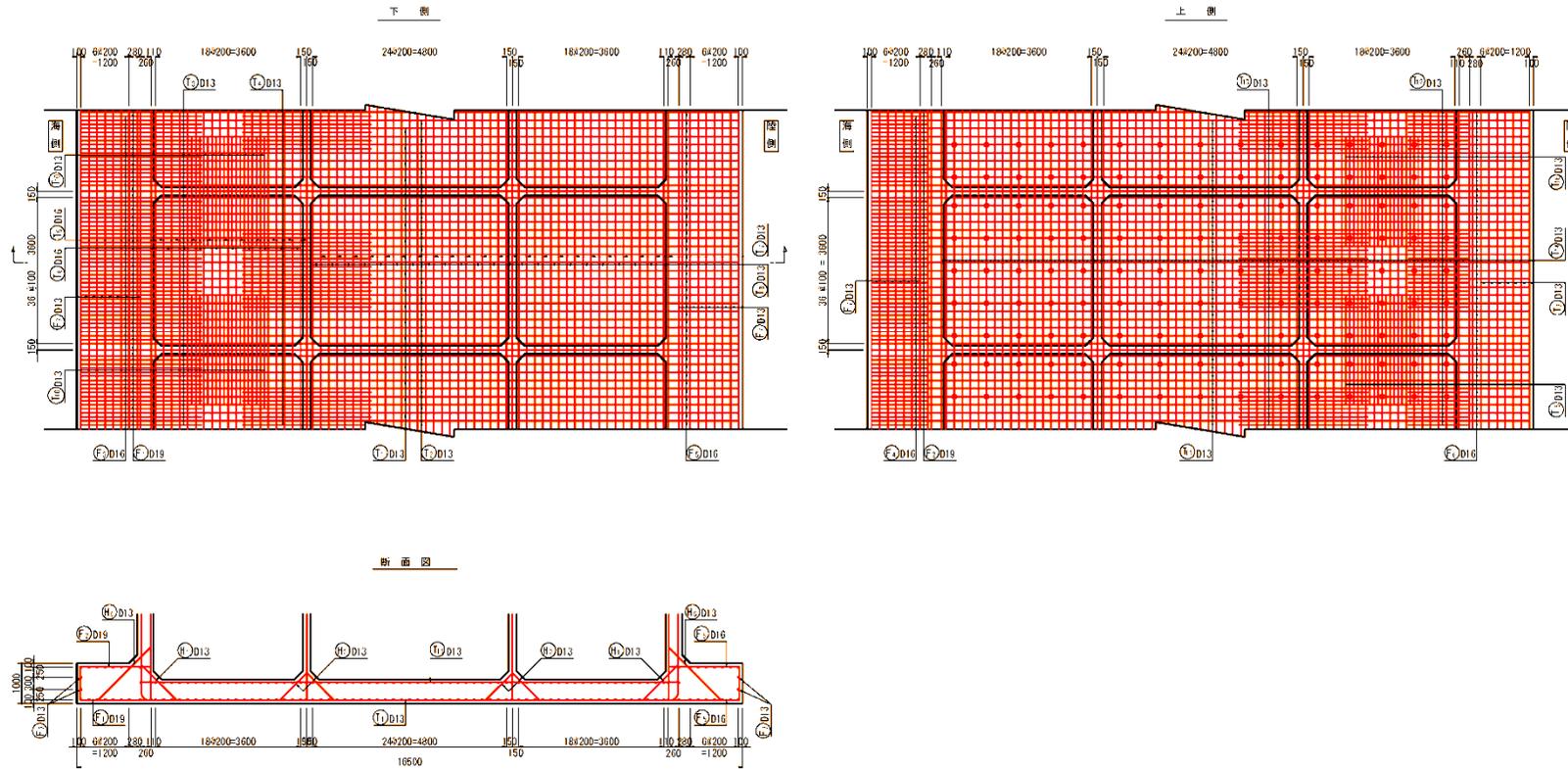
使用材料および重量

記号	名 称	材料および規格	許容応力度 (kg/cm ²)	個数 (個)	1個当り 重量 (kg)	重量 (kg)
①	本 体	JIS G 5101 3種SC46	1,400	1	1,670	1,670
②	アンカーボルト	JIS G 3101 2種SS41 JIS B 0205 M20-2.6	1,400	6	33	198
③	六角ナット	JIS B 1101 1種、並3級 41, M20-2.6	—	—	—	—
④	平 座 金	JIS B 1256 並丸、鋼	—	6	—	—
⑤	アンカ板	JIS G 3101 2種SS41 またはJIS G 5101 3種SC46	1,400	6	29	144

年 度	平成〇〇年度	図面番号	
工 事 名			
図面名称	けい船曲柱100t型 標準断面図		
縮 尺	1/10	単 位	mm
設計年月日	平成〇〇年〇月〇日	組 成	
国土交通省〇〇地方整備局〇〇港湾事務所			

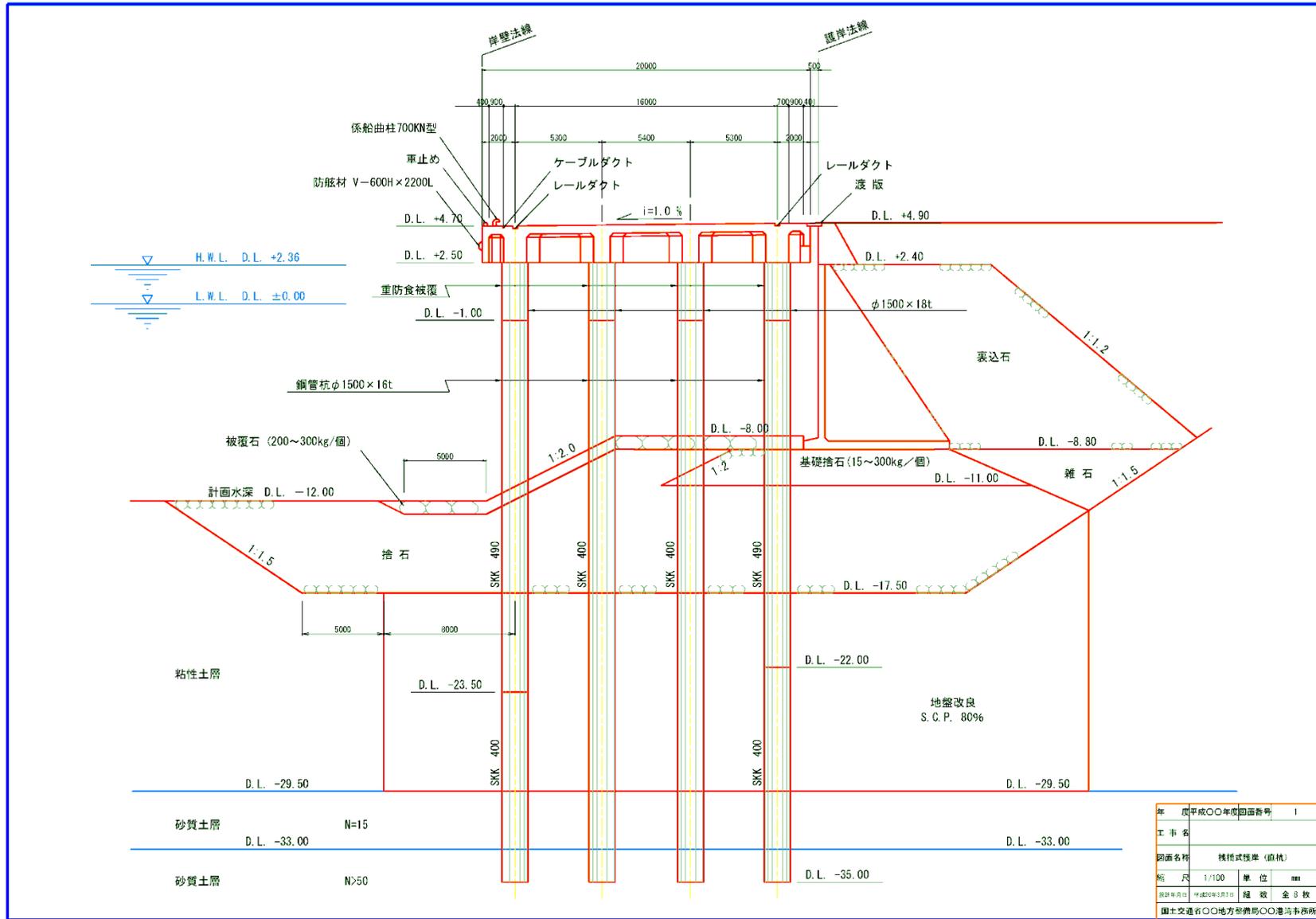
(底版配筋図)

底版配筋図 S=1/50

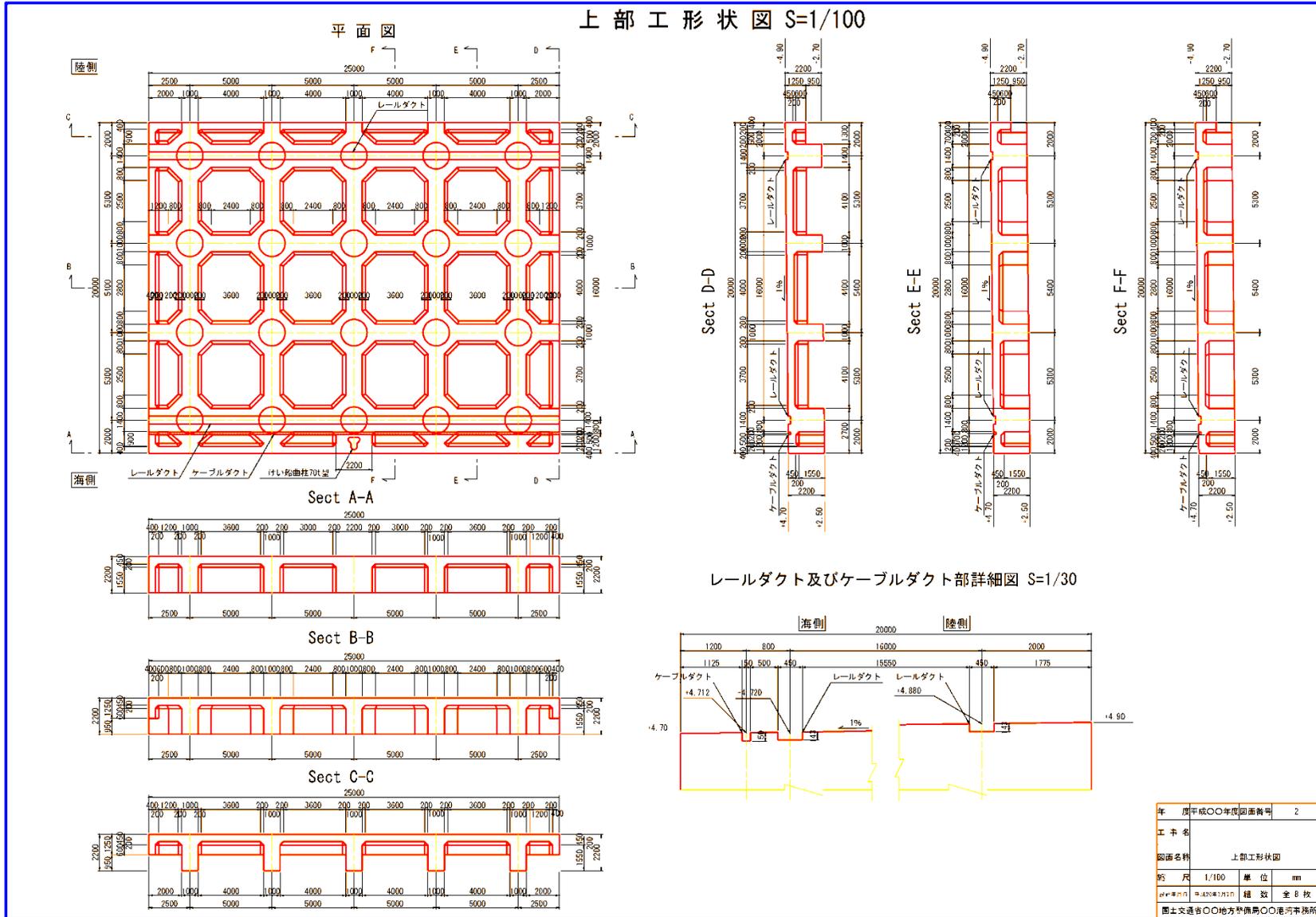


年	度	平成	〇〇	年度	図面	番号
工 事 名						
図面名称				底版配筋図		
尺 寸	1/50	単 位	mm			
枚 数	1/11		縮 放	全 4 枚		
图上交通省〇〇地方整備局〇〇港湾事務所						

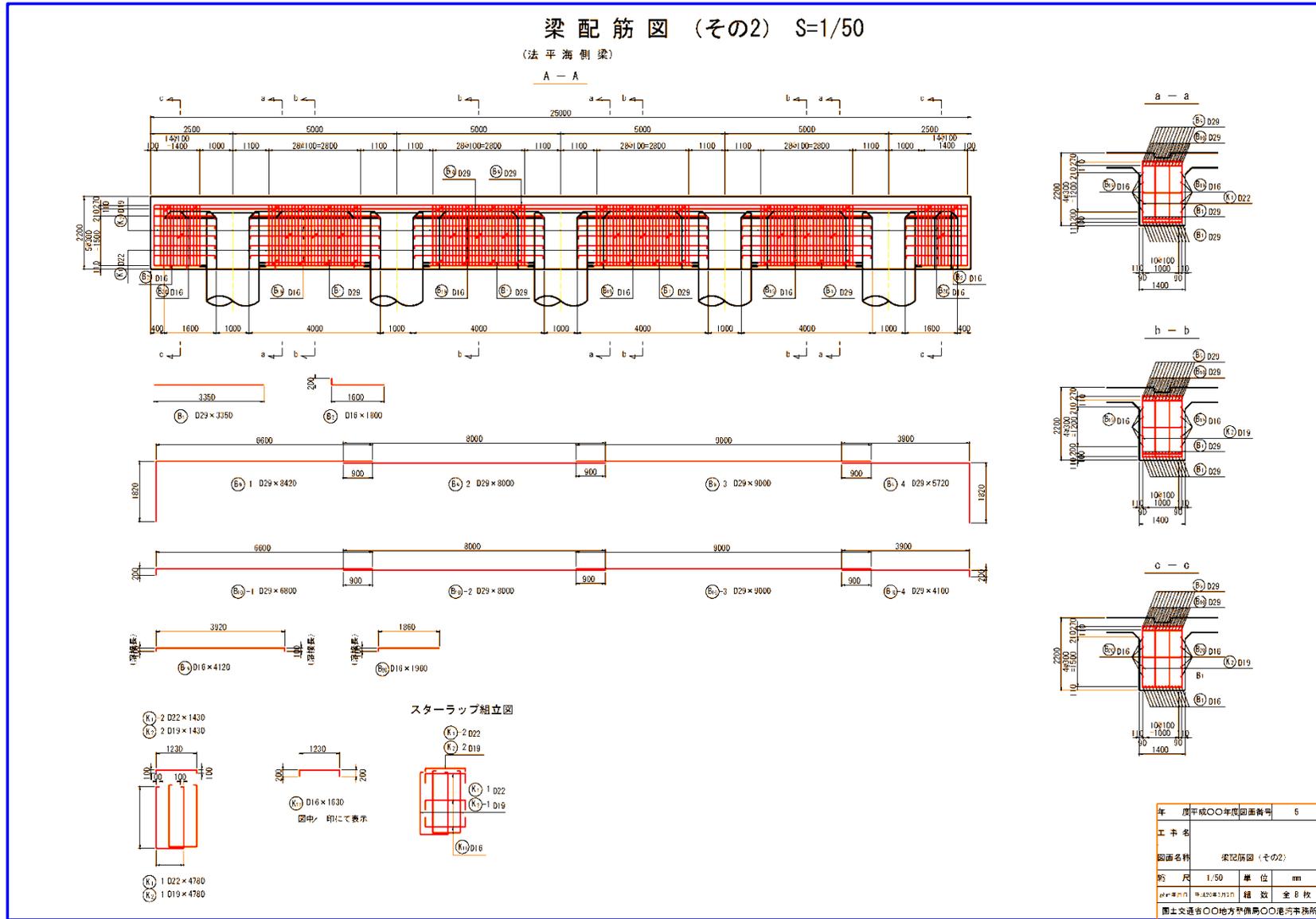
(2) 直杭式横棧橋 (標準断面図)



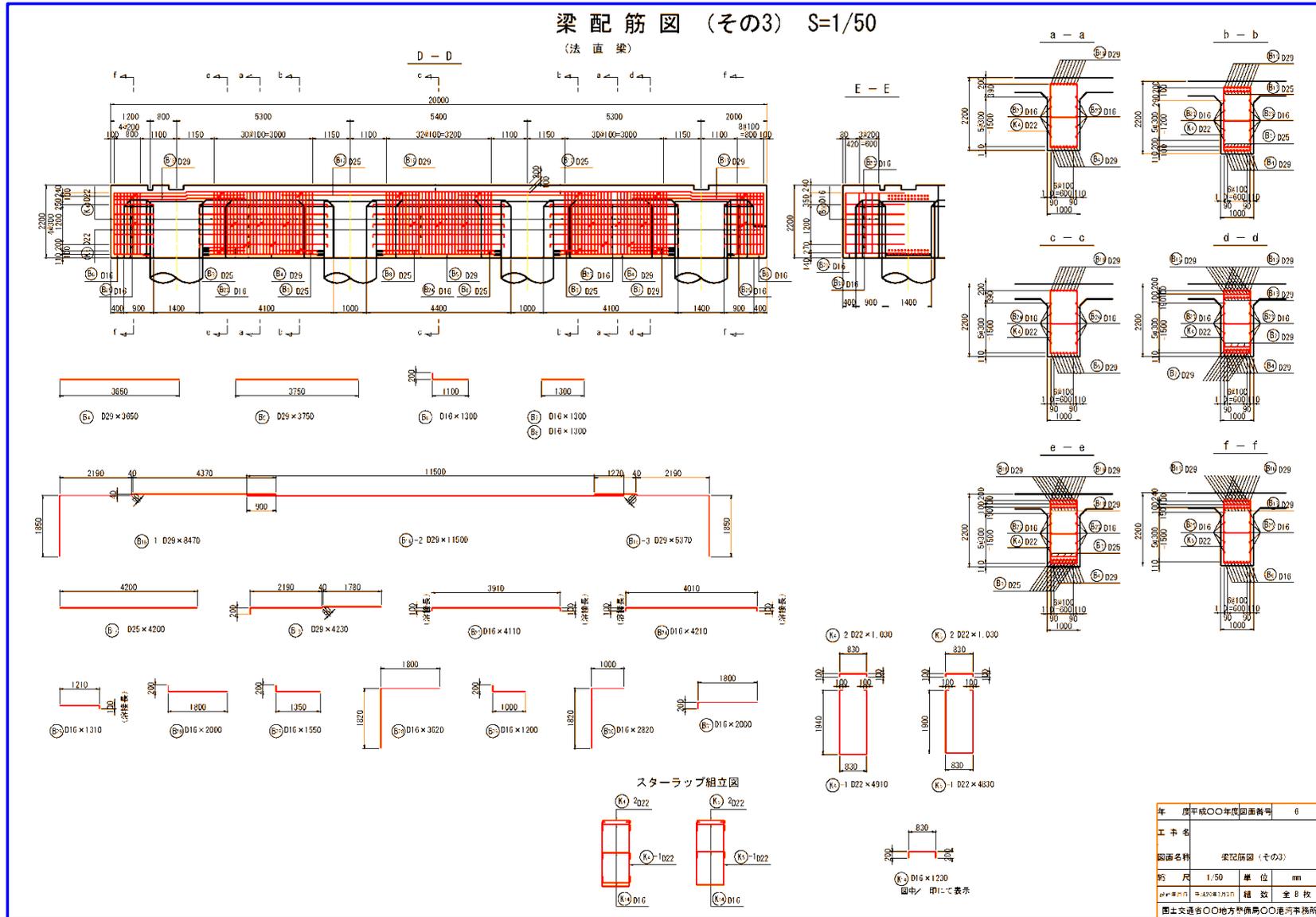
(栈橋上部工形状図)



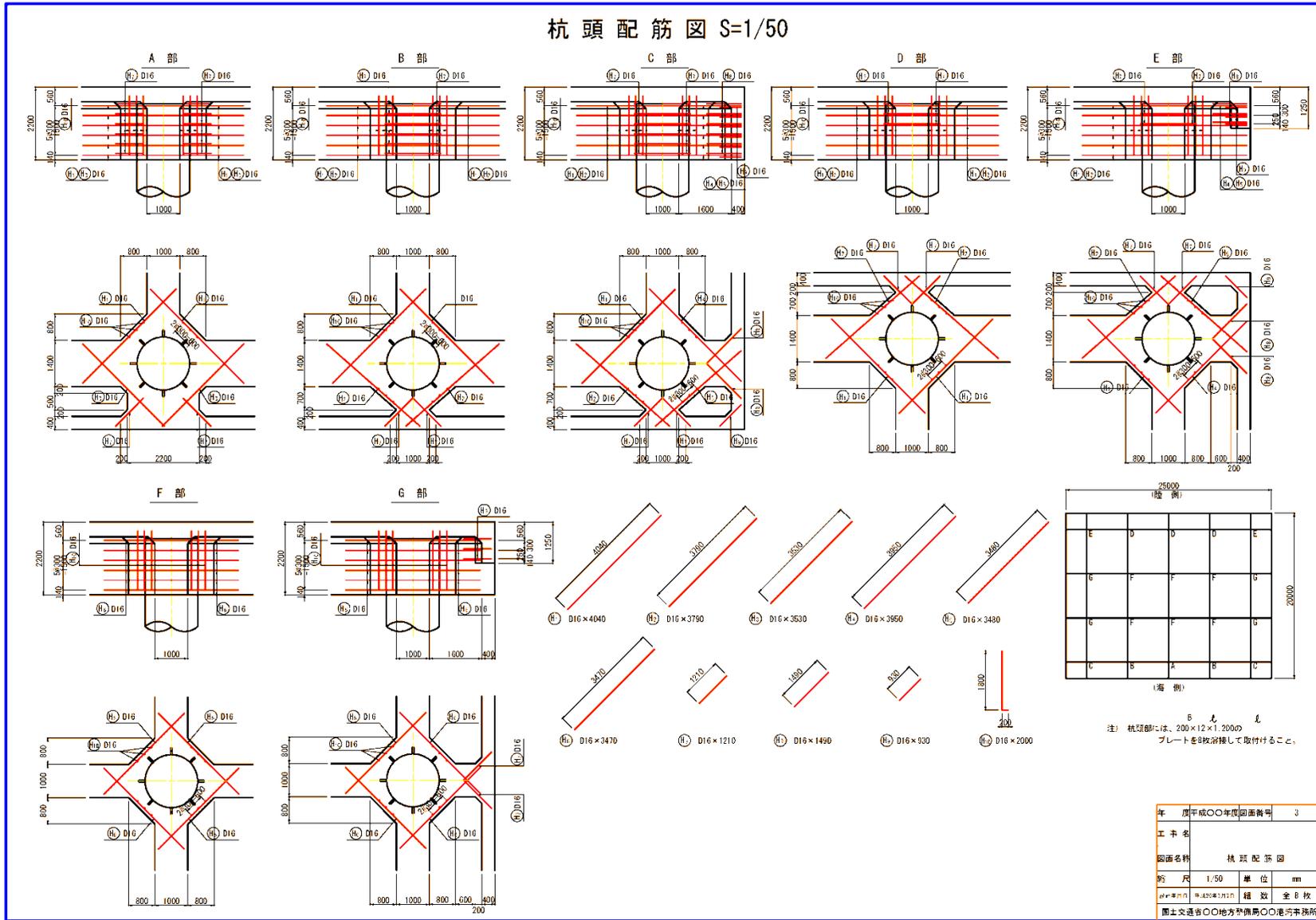
(栈橋上部工梁配筋図その2)



(栈橋上部工梁配筋図その3)



(栈橋上部工杭頭配筋図)



資料－3

港湾工事工種体系ツリー

「港湾工事工種体系ツリー」は、下記『積算基準等に係る情報』ページ内の「港湾請負工事積算基準について」に公開されていますので、そちらを参照してください。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000019.html

資料－４

空港土木工事工種体系ツリー

「空港土木工事工種体系ツリー」は、下記ホームページで公開されていますので、こちらを参照してください。

<https://www.y.sk.nilim.go.jp/kakubu/kukou/sekou/page-siryou2RN.html>

**地方整備局（港湾空港関係）の事業における
電子納品等運用ガイドライン【資料編】**

2011年3月	初版発行
2013年5月	一部改訂
2017年3月	二版発行
2018年3月	三版発行
2020年3月	四版発行
2022年3月	五版発行

発 行 国土交通省 港湾局